

第八十六回帝國議會
衆議院

恩給法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

恩給法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第一七號)

明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第一八號)

昭和二十年一月三十一日(水曜日)午前
十時三十分開議

出席委員 左ノ如シ

委員長 古田喜三太君

理事 川崎巳之太郎君 理事 宗前

理事 高野孫左衛門君

牛塚虎太郎君 大石 大君

金子 定一君 木下 信君

田嶋榮次郎君 高岡 大輔君

林 信雄君 坂東幸太郎君

牧原源一郎君 山崎 常吉君

出席國務大臣 左ノ如シ

內務大臣 大達 茂雄君

出席政府委員 左ノ如シ

內閣恩給局長 平木 弘君

內閣統計局長 川島 孝彦君

法制局長官 三浦 一雄君

內務省管理局長 竹内 德治君

陸軍政務次官 子爵大島陸太郎君

陸軍參謀官 依光 好秋君

厚生政務次官 中井川 浩君

厚生參謀官 馬場 元治君

厚生省勤務局長 中村敬之進君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

明治三十五年法律第四十九號國勢調査ニ關スル法律案外一件委員會會議錄 第三回 昭和二十年一月三十一日

查ニ關スル法律ノ昭和二十年ニ於ケル特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

○古田委員長 只今ヨリ開會致シマス、此ノ場合政府委員ヨリ昨日御要求ノ資料ノ御話ヲナサルサウデアリマス

○平木政府委員 ソレデハ昨日御要求ノアリマシタ資料ニ付テ説明申上ゲマス、第一番ハ現在ノ恩給ノ増加ガドウ

云フ風ナ狀況ニナツテ居ルカト云フ問題デゴザイマス、是ハ速記ヲ止メテ下サイ

○古田委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○古田委員長 速記ヲ書イテ下サイ

○平木政府委員 次ニ今度ノ改正法ニ依ツテ金額ガドレダケ増エルカト云フ

コトデゴザイマシタガ、此ノ問題ハ今度ノ改正ノ問題ノ性質上、ソレヲ推計

スルコトガ非常ニ困難デゴザイマスガ、唯現在マデニ分ツテ居リマスコトデケ

申上ゲマシテ、御參考ニ供シタイと思ヒマス、今度ノ改正ノ主ナル點ハ四ツ

アリマスガ、其ノ四ツノ項目ニ付テ簡單ニ是カラ申上ゲマス

第一ノ問題ハ特別攻撃隊其ノ他ノモ

ノニ對スル恩給額算定ノ制限ヲ撤廢スルコトデアリマス、詰リ現在ニ於キマ

シテハ、戰闘、公務ニ依リテ死亡致シマシタ場合ニハ、軍人ニ付キマシテハ

二階等ノ昇級、ソレ以上ノ昇級ハ恩給ノ基礎トシテハ認メテ居リマセ

ス、ソレヲ今度サウ云フ特別ノ人々ニ對シマシテハ撤廢スル譯デアリマスガ、之

ヲ撤廢シタ結果一體ノ位増額スルカ

ト云フ問題ニナリマスガ、是ハ御想像

モ付キマス通り、今後一體ノ位サウ云フ人々ガ出ルカ、今後ノ位特別

攻撃隊其ノ他ノヤウナ人ガ出ルカト云フヤウナコトニ關聯シテ來ル問題デア

リマシテ、戰局ノ様相或ハドノ位續クカト云フ問題ニ關聯致シマスルカラ、

將來ノコトヲ此ノ際何トモ想像ガ付キ兼ネルノデアリマス、唯參考ノ爲ニ現

在マデニ一體ソレデハドノ位増エルカ、現在マデニ判明シテ居ル人ニ付テ

ハ、ドウ云フ狀況ニナツテ居ルカト云フコトデケハ分ツテ居リマスカラ其ノ

點ヲ申上ゲマス、現在マデニ判明シタ所ニ依リマス、此ノ制限規定ノ撤廢

ハ大東亞戰爭初メニ適ツテ該當者ヲ救済スルコトニナリマス、其ノ過去ニ適

リマスル該當者ハ、下士官、將校合ハセマシテ約一八、ソレカラ最近例ノ

特別攻撃隊ノ人々ガ現在マデノ所約一、名デアリマス、合ハセマシテ之

該當致シマスノガ一、名デアリマス、此ノ制限ノ撤廢ニ依リマシテ一人平均

増加致シマス額ハ大體百圓、全部デ二萬圓一寸デアリマス、今後ソレガドウ

殖エルカト云フコトハ、先程申上ゲマシタ通り何トモ申上ゲ兼ネルト云フコトハ御諒解願ヘルト思ヒマス

其ノ次ハ傷病年金ノ問題デアリマスガ、傷病年金ヲ受ケルヤウナ症狀ノ程度ニ達シタ者ニ付キマシテハ、現在ノ規定ハ職ニ堪ヘズシテ一年以內ニ退職

スルコト云フコトガ條件ニナツテ居リマス、昨日法制局長官ヨリ御説明ニナリ

マシタ通り、其ノ制限ヲ撤廢シテ一

年以內ニ退職シナイデモ、傷病年金ヲ支給スルコトニナルノデアリマス、此

ノ傷病年金ハ大體將校、下士其ノ他引括メテ申シマスト一人百八十圓位ニナ

ル譯デアリマス、ソレデハ今後ドノ位ガ、ソレニ該當スルカト云フコト、是

モ極メテ困難ナ問題デ、何トモ豫想ガ付キ兼ネルト云フコトヲ御諒解願ヘル

ダラウト思ヒマス

其ノ次ハ內國交戰地域勤務加算ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ

ハ現在ノ所マダドノ地域ニ交戰地域勤務加算ヲ付ケルカト云フコトガ決マツ

テ居リマセ、殊ニ二箇月以內トナツテ居リマシテ、二箇月ニナルノカ、一

箇月ニナルノカト云フコトモ決マツテ居リマセ、唯現在ノ狀況ニ於キマシ

テハ南洋群島トカ、サウ云フ風ナ遠隔ナ地方ニ付ケル、現在ノ狀況ニ於テハ

内地ノ方ニハ付ケナイト云フ政府ノ方針デアリヤニ伺ツテ居リマスノデ、

是モ該當者ハ極メテ少イト云フコトガ現在豫想セラレルノデアリマス、宜吏

ノ判任官、高等官ナドヲ引括メマシテモ、例ヘバ假ニ交戰地域勤務加算ガ二

箇月ト致シマシテモ、一年ニ一人増額スルノハ二十圓位ノ程度デアツテ、人

數モ極メテ少イトデアリマスカラ、是モ金額ハ極メテ小サイトデアリマス

其ノ次ハ臺灣、朝鮮出身ノ公務員ガ、自身ノ出身地以外ニ勤務シタ場合ニ植

民地加算ヲ付ケル場合デアリマス、例ヘバ臺灣出身ノ公務員ガ朝鮮、朝鮮出身ノ公務員ガ臺灣ト云フ風ニ自分ノ出身地以外ニ勤務シタ場合ニ、其ノ植民

地加算ヲ付ケルノデアリマスガ、是ハ朝鮮、臺灣等ニ於テハ植民地勤務加算

ハ一箇月ニ三分ノ一ニナツテ居リマスカラ、三年勤メテ一箇年殖エル譯デア

リマス、金額ト致シマシテハ極メテ僅カデアリマシテ、ソレニ該當スル公務員、殊ニ是ハ朝鮮、臺灣ノ志願兵其ノ

他ノ軍人ガ多イトデアリマシテ、一般文官ニハ殆ド該當者ガナイ、軍人モ下

士官ト云フノガ多イトデアリマシテ、三年居リマシテモ一人殖エマスノガ六

圓カラ七圓見當デアリマス、金額ト致シマシテハ是モ極メテ小サイトデア

リマス、正確ニ之ヲ推定スルコト云フコトハ勿論困難ナ譯デアリマス、以上ガ

大體本改正ニ付テ増加ノ狀況デアリマスガ、今申上ゲル通りニ之ヲ推測スル

ト云フコトガ色々事情ニ依リマシテ困難デアルト云フコトハ、何卒御諒解願ヒタイと思ヒマス

其ノ次ハ私立學校ノ職員、電氣、船員等ニ關スル恩給ハドウ云フヤウニナツ

テ居ルカト云フコトデゴザイマスガ、私立中等學校ノ職員ニ付キマシテハ恩

給法トハ關係ゴザイマセ、是ハ私立中等學校恩給財團ト云フ所デ恩給ヲ支拂ツテ居ルヤニ承ツテ居リマス、勿論

是ハ恩給法トハ關係アリマセ、國庫ノ負擔トハ關係アリマセ、文部省ノ所管デアリマスカラ、若シ必要ガアリマスレバ文部省ノ方カラ詳シク説明

シテ戴クコトニ致シマス

其ノ次ハ船員デアリマスガ、此ノ船員ハ色々政府ノ方デモ其ノ待遇ニ付テ考慮サレテ居ルヤウデアリマス、現在

考

五

ニ於キマシテハ恩給法ノ所謂公務員デハゴザイマセヌ、隨ヒマシテ國庫負擔トシテ恩給ノ負擔ト云フコトトハ關係ガ現在ハナインデゴザイマス

其ノ次ハ軍屬デアリマスガ、此ノ軍屬ト普通ニ申シマス、非常ニ廣イ意味ニ軍屬ト云フノハナル譯デアリマス、軍屬トシテ官署シテハ總テ軍屬ト謂ハレテ居リマス、例ヘバ會社ノ重役或ハ事務員ト云フヤウナリ軍屬ト云ヒ、或ハ職工トカ人夫トカ云フ者モ總テ官署シテハ軍屬ト謂ハレテ居リマスガ、恩給法テ取上ゲマス軍屬ト申シマスノハ、文官タル資格ヲ持ツテ居ル軍屬デアリマス、隨ヒマシテ例ヘバ司政長官デアリマス、司法官デアリマス、其ノ他文官ノ資格ヲ持ツテ居ル人デアリマス、會社ノ方カラ入ツタ人デモ文官ノ資格ヲ取得スル人モアリマスガ、大體ニ於テサウ云フ人ハ軍ノ囑託或ハ雇員、斯ウ云フ資格デアリマシテ、實質上上官ノ資格ハゴザイマセヌ、大體御質問ノヤウナモノハ恩給法トハ關係ガナイント申上ゲテ宜カラウカト思ヒマス、是デ資料ノ説明ヲ終リマス

○古田委員長 川崎君、發言ヲ許シマス

○川崎(巳)委員 只今資料ヲ御説明ヲ戴キ、且又色々條文ニ付テ伺ツテ稍、輪廓ヲ明瞭ニ致シマシタガ、恩給法ヲ開ケテ見ルト、百條近イモノニナツテ居ツテ、ソレモ大正十二年ニ出來タヤツツ段々繼ギ足シテ行ツテ、船頭カ何カガ着テ居ル古イ着物ノヤウナ風ニ變ヒサシマシテ、襤褸ガ片々收拾スベカラザルヤウナ形ニ見エテ居ルノデス、ソレデモマア實行シテ行クノデゴザイマセウガ、是カラ先戰爭ガ愈々大キ

ク且ツ苛烈ニナツテ行キマスルニ連レテ、軍人及ビ軍屬ニ對スル恩給ヲ國家トシテ大イニ又考ヘナケレバナラヌコトニナツテ居リマス、非常ニ必要ナ時節要點ヲ見マスルト、非常ニ必要ナ時節柄當ヲ得タコトデアリマス、ケレドモ、是ハ所謂膏粱ヲ貼ツテ繼ギ足シマシタト云フノデ、亂離ノ狀態ハ依然トシテ居ルノデスガ、一日凌ギハソレデ宜ウゴザイマスガ、何カ政府トシテ、小磯、米内協力内閣ト云フ總理大臣格ガ二人モアル大キナ内閣ナンデスカラ、マア何年續クカ分リマセヌガ、恩給法ヲ整理シテソノ一ツノ纏ツタモノニスルト云フ御意思ハナインカト云フノガ第一ニ伺ヒ

タイ點デアリマス、前例ガアルカト思ツテ調べテ見マス、前例ハマダナイノデ、左様ナ繼ギハギガ多ク重ツタヤウデアリマスガ、或ル時一舉ニ、明治年間ノ恩給ニ關スル規定等ヲ二、三十固メテ掃除シタコトモアルノデス、今ハ其ノ掃除ノ時期ニナツテ居ルヤウデヤナイカ、サウシテ簡單明瞭ニ分ルヤウニ、何處マデガ恩給ノ範圍ニ拔フノデカ、何カ當事者モ五月蠅イデアリマセウシ、恩給ニ預カル何十萬ト云フ人員、若シタハ其ノ遺家族ニ於テハ分リニタイ、極メテ簡明デナイノデアリマスカラ、其ノ御意思ガアルカナイカト云フノガ第一點デス

第三點ト致シマシテハ、只今御説明ニナリマシタヤウニ、軍屬ノ範圍デスガ、是ガ今マデハ現行法ノ十九條ニアル定義ニ基キテ、文官タル軍屬ニ限ラレルト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ頃文官デナクモ各方面ニ軍屬トシテ戰時殉職スル者ノ數ガ中々多イノデスガ、ソレガハツキリナツテ居ナイ爲ニトシテ厄介ノゴタノ、生ジタ實

例ガ現ニアルノデス、例ヘバ開戦間モナイ昭和十七年ノ春大洋丸アタリデ、軍人或ハ文官デナイ者ガ澤山出掛けテ行ツテ、途中デ中堅所業界人ガ千人以上モ一舉ニ敵潜水艦ノ爲ニ遭難シテ居ルト云フコトモアルノデス、サウシテ、ソレハ皆陸軍大臣或ハ海軍大臣カラ任命ヲ受ケテ或ル使命ヲ帶ビテ辭令ヲ携ヘテ行ツテ居ルノデ、會社員タルガ爲ニ會社ノ用ヲスルノニ出テ行ツテ居ルノデハナカッタノデス、左様ナ者ガ敵艦ノ爲ニ遭難シタ時ニドウスルカト云フ時ニ、遺族扶助カ何カ實ヲデアリマセウケレドモ、差當リ大洋丸等ニ於キマシテハ、相當金力ニ於テ有力ナ會社ノ主ナ中堅コロガ行ツテ居リマスノデ、各個人モ相應大キナ財産ヲ持ツテ居タ者ガアル、此ノ遺產相續ト云フコトニナルト、財産ノ大キサニ依ツテ財產總額ノ半分位ハ相續稅ニ取ラレテシマフ、ソレデソレ軍屬デ戰死シタ者ニハ全免スルコト云フ規定ガ相續稅法ノ一箇條ニアルノデゴザイマス

ガ、ソレヲ適用スルカシナイカト云フコト、大津丸事件ナドノアツテカラ一年有餘ヲ經テ、去年ノ春夏頃ニ私共色々伺ヒテ立テ、大藏省、陸軍省其ノ他ヘ交渉ヲシマシテ、ヤツト全免スルト云フコトニナツタノデスガ、サウ云フ風ニ一ツ問題ガ起ル毎ニ誰カガ奔走シタリ、談判シタ結果シブノ、ソナ風ニ手綱ヲ弛メテ、之ヲ免除スル、何ヲ免除スルト云フヤウナコトデハ困ルノデアリマシテ、其ノ方面カラ見マシテモ、戰爭ニ直接ノ關係ノアル者デ官命ヲ帶ビタ者ハ、會社ノ人間デアツテ、文官ノ判任官、勅任官ニナツテ居ナイニシタ所ガ、國家ノ戰爭目的ヲ達成スル

爲ニ必要ナ人間ナノデアリマスカラ、ソレ等ニモ左様ナ相續稅等ニ付テ減免ノ特典ヲ與ヘルベキガ當然デ、左様ナ條文アルモ全ク之ヲ實施セズシテ漸ク一年有餘ヲ經テ與ヘルコトニナツタノデスガ、ソレデヤソレハ相續稅ノ場合ダケデ宜イカト云フト、或ル時ニハ、其ノ主人公ガ亡クナツタ爲ニ、其ノ時マデハ色々不動產トカ、不動產トカ、株券ヲ持ツテ居ツテモ、主人死去ノ後其ノ運用ガ遺兒或ハ未亡人等ニ於テハ出來ナクテ、一向シヤウガナクテ、其ノ上大枚ノ相續稅デ資産俄ニ半減シ、暮シテ行ケナイト云フ向キガ財產家ノ或ル種類ニ依ツテハアツタノデアリマス、ソレデカラ、第二點ト致シマシテハ、根本ノ問題ニナリマス、ケレドモ、文官デアリマス軍屬ト云フ小サナ範圍ヲ一ツソレハ斯様ナ大戰爭ヲ豫想シナイ時期、大正十二年カニ「シベリヤ」出兵ノ跡始末トシテ臨時ニ出來タモノデスカラ、時代ガ斯様ニ變化シタ以上ハ、ドノ程度マデスルカハ專門家ガ研究スベキデアリマスガ、軍屬ノ範圍ヲ擴ゲル意思ハナインカ、斯様ナコトヲ内閣トシテ御答ヘガ出來ルナラバ一ツ御意思ヲ發表シテ戴キタイト思フノデゴザイマス、其ノコトハ私ガ此處デ一人申上

ゲルバカリデハナインノデ、勝ち抜ケ爲メ總力戰ヲ絶叫スル今ノ内閣ハ、其ノ邊ニ對シテ、ドウ云フ意思ヲ持ツテ居ルカト云フコトハ、只今全國民ガ見テ居ル所デアルト思フノデアリマス、デゴザイマスカラ、只今デモ宜シイ、或ハ御協議ノ上デモ宜シイ、御意思ヲ御發表願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ二點ダケ伺ヒマス

○平本政府委員 只今御質問ノ第一點ハ、恩給法ガ大分ゴタノ、シテ繼ギハ

ギダラケニナツテ居ルヤウダガ、之ヲ根本的ニ整理シテ簡明ナキモノニシタラドウダト云フ御質問ト承リマシタガ、成程恩給法ハ非常ニ分リニタイト云フコトガ謂ハバ定評ノヤウニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ私共事務ヲ執ル者トシテモ、出來ルダケ簡素簡明ニ致シ、一般ノ人ニモ能ク分リ、事務ノ方モ極メテ簡單迅速ニ運ブヤウニ致シタイハ實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、何分現在ノ狀況ニ於テハ、實際内容ガ細カク規定サレテ居ルノデアリマス、加算ノ問題ニシテモ、其ノ他色々ナ問題ニシテモ、非常ニ細カク規定ガ出來テ居ルト、云フコトハ、個々ノ實情ニハ非常ニ能ク合フ結果ニルノデアリマス、大難把ニスル

ト個々ノ實情ニ中々適シナイト云フ缺點ガアリマス、其ノ點ニ於テハ非常ニ宜イト思ヒマスガ、サウスルト今度ハ私共事務ヲ執ル上ニ於テ非常ニ複雑ニナツテ、中々簡單ニ事務ガ抄ラナイト云フ缺點モアルノデアリマス、ソレデ一體ドウシタラ宜イカト云フ問題ニナリマスガ、近年マデノ狀況ヲ見マス

ト、サウ云フ風ニ細カク個々ノ實情ニ合フヤウナ傾向ヲ持ツテ居リマシタガ、先年來行政ノ簡素化ト云フヤウナコトガ強ク叫バレテ以來、私共トシテハ出來ルダケ簡素ニ、殊ニ戰時中デア

權ノ問題ニモ觸レテ參リマス、サウ云フ既得權ニ觸レテ問題ヲ大難把ニ割ツテシマフコトハ、實ハ現在ノ情勢ニ於テハ非常ニ困難ナ問題デアリマス、若シ其ノ既得權其ノ他ノ經過規定ノ問題ヲ其ノ繼續トスルト、結局之ヲ改正シテモ複雑性ニ於テハ現在ト差ガナイト云フコトニナルデアリマス、サウ云フ點ヲ彼此レ考ヘマス、何レハサウ云フ點ニ向ツテ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ問題デアリマスガ、只今ノ所直チニソレニ着手スルコトハ、非常ニ困難ナ事情ニアルノデハナイカト考ヘテ居リマス、其ノ次ニ軍屬ノ範圍ノ問題デ、之ヲ現在ノ文官タル軍屬ニ限ラナイデ、囑託其ノ他ノ待遇ヲ持ツテ居ル軍屬ニモ、或ル場合ニ於テハ恩給ヲ受ケルヤウニシタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ大キナ政府ノ方針ニモ關係スル問題デアリマシテ、私ダケデ述べルノモ如何カト存ジマスカラ、後デ相談シテ御答ヘスルコトト致シマス

○川崎(三)委員 第二ノ問題ニ付テハ法制局長官其ノ他ト御相談ノ上何分ノ御意思ノ發表ヲ願ヒマス

○古田委員長 林君

○林(信)委員 私が此ノ際御聽キシテ見タイト思ヒマスノハ、御提案ノ改正案ノ字句ノ問題デアリマス、三十三條ノ二「公務員内國ノ交戦ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミズ其ノ職務ヲ以テ勤務シタルトキハ其ノ期間ノ一月ニ付二月以内ヲ加算ス」此ノ趣旨ハ能ク分リマスシテ贊成ノ心持デアリマスガ、申上ゲルヤウニ字句ノ問題デ、「交戦ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミズ其ノ職務ヲ以テ勤務シタルトキハ」是ハ少シ説明ニ過ギテ居ナイカト云フ感ジヲ持ツデアリ

マス、法令ノ字句ガ冗長ニ互ラナイ限リ説明的ガアルコトモ結構ト思ヒマスガ、此ノ場合ニ、特ニ危險ヲ顧ミズト云フ字句ハ、説明ニ過ギテ居ハシナイカト私ハ思ヒマス、何トナレバ是等公務員ノ諸君ガ、此ノ職務ヲ以テ勤務致シ場合ニ危險アリト致シマスナラバ、ソレヲ顧ミズシテ敢テ勤務スルコトハ固ヨリ當然デアリマス、ソレヲ顧ミズシテ勤務スルモノガアルト豫定サレタト云フコトニナリマス、左様ニ信ジ得ナイコトハナカラウト思ヒマスガ、果シテ危險ヲ顧ミル者ト顧ミザル者ト選リ分ケテ加算ノコトガ左右サレルコトニナリマス、實際問題トシテモ非常ニ不可能ト思ヒマス、恐ラク此ノ心持ハ危險ノ處デ働カラ加算スルノダト云フコトガ玆ニ現ハレテ居ル條文ト思ヒマス、餘リニ當然ナコトガ字句ノ上ニ出テ居ルヤウナ感ヲ持ツデアリマス、同様ニ五十九條ノ二デアリマスガ、「戦闘ノ爲傷病ヲ受ケ之カ爲死亡シタル際ニ階等以上進級シタル軍人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」ト云フ點モ、常識的ニ考ヘテ、戦死ハ別ニ恩給法ノ處置ガアリマスカラ、戦闘ノ爲ニ傷病ヲ受ケタ爲ニト云フコトニナルト、所謂戦死ト直接ニ云フモノトハ區別サレタヤウナ文ヲ用ヒラレテ居リマス、戦死ノ場合ハ「傷病ヲ受ケテ死ヌコトハ生理的ニハナルカモ知レマセヌガ、戦死ノ死ニハ似ツカハシクナイ文ヲ用ヒラレテ居リマス、此ノ邊ノ關係ハドウナルデアリマス、此ノ字句ハ又七十五條ノ第二項ニモ用ヒラレテ居リマス、此ノ點ニ付テ私一人ノ考ヘカモ知レマセヌガ、此説明ヲ願ヒマス

○平木政府委員 第一ノ危險ヲ顧ミズノ意味デアリマスガ、此ノ意味ハ只今

申サレマシタ通り、公務員ガ危險ヲ顧ミル者、顧ミナイ者モアリ、顧ミナイ者ダケヲ救ツテ居ルト云フ意味デアリマセヌ、是ハ交戦地域ニ於テ特ニ危險ナ状態ニアルト云フ風ナ意味ヲ玆デ現ハシテ居ルノデゴザイマス、殊ニ第三十三條ニ於キマシテ、「公務員外國ノ交戦又ハ擾亂ノ地域内ニ於テ危險ヲ顧ミズ」ト云フコトガゴザイマシテ、第三十四條ニハ、是ハ戒嚴加算ノ規定デゴザイマスガ、「公務員戒嚴地域内ニ於テ危險ヲ顧ミズ其ノ職務ヲ以テ」ト云フ風ニ色々斯ウ云フ場合ノ例ガアリマシテ、ソレト總テ歩調ヲ合セテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ交戦地域デアリマスルカラ當然危險ハアリマスルガ、特ニ客觀的ニ危險ナ地域デアルト云フ意味ヲ現ハシタノデアリマシテ、危險ヲ恐レテ職務スルト云フモノヲ豫想シテ居ル規定デハゴザイマセヌ、ソレカラ其ノ次ノ五十九條ノ二「戦闘ノ爲傷病ヲ受ケ之カ爲死亡シタル」ト云フ言葉ガゴザイマスガ、是ハ恩給法ノ用語ト致シマシテハ、即死ノ場合モ含シテ之ヲ解釋シテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○林(信)委員 同ジコトヲ申サウデアリマス、前ニサウ云フ「危險ヲ顧ミズ」云々ノ言葉ガアツタカラ使フコト云フコトデハナシ、此ノ場合ニ於テハ御説明ノ通りデアリマシテ、交戦ノ地域内デアリマスカラ當然其ノ危險ハ伴ツテ居ルカラ其ノコトガナサレルノデアリマス、斯ウ云フ説明的ナ言葉ハ如何カト思ヒマスガ、併シ字句ノ問題デアリマスカラ、ソレ程施設何カニ影響ガナイカモ知レマセヌガ、ヤカマシク取上ゲレバ危險ヲ顧ミル者モアルカノヤウニ取レナイコトモナイノデアリ

マス、サウ云フコトノナイコトハ勿論デアリマスカラ、適當ナ機會ニ在來アリマスルモノモ共ニ一ツ考ヘ合ハセテ戴キタイト希望申上ゲテ置キマス、同様ナ意味ニ於キマシテ「戦闘ノ爲傷病ヲ受ケ之カ爲死亡」ノ字句ノ如キモ餘リニ説明的ニナツテ居リマス、ノデ、ヤハリ是ハ戦死モ入ルト云ヘバ説明的ダト思ヒマス、端的ニ戦死其ノ他傷病ヲ受ケタトカ何トカサウ云ツタ字句ノ方ガ適切デハナイカ、是モ強ヒテ固執致ス氣持ハアリマセヌガ、御考慮ダケハ賜ハツタラト思ヒマス、御希望申上ゲテ置キマス

引續キマシテ恩給ノ關係デ簡單ナコトヲ伺ヒマス、全然素人デスカラ分リマセヌガ、恩給ガ軍人、官吏等ノ退職後ニ於キマスル恩給デアリマスルコトハハツキリシテ居リマス、其ノ根本ノ心掛ニ於キマシテ係給ノヤウニ生活ヲ維持スルモノデハナイデアリマセウガ、少クトモ生活費ノ一部ノ根源デハアルト思ヒマス、ソレデアリマスレバ、是ハヤハリ物價騰貴ノ關係等ニ於テ、其ノ額又ハ比率カラ來ルト思ヒマスガ、其ノ額ハ幾ラカノ機動性ヲ持タセナケレバビツタリシナイカト考ヘルノデアリマス、是ハ由來サウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、或ハサウデナクシテ、定メラレマシタ一律ノモノデ動力カザルノガ恩給法ノ根本ノ考ヘ方デアリマス、カ、全然素人デ分リマセヌガ伺ツテ見タイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 只今林サンカラ御質問ノ點ハ貴族院デモ同様ノ御見解ノ下ニ御質疑ガアリマシテ、固ヨリ恩給ハ御承知ノ通り國家ノ恩典デゴザイマスガ、一面ニ於テ御説ノ通り若干ノ生活ヲ支持スルト云フ經濟的理由ノ

アルコトハ勿論デアリマス、隨ヒマシテ現下ノ戰時經濟ニ於テ物價騰貴ノ事象ガ顯著ニナリ、ソレニ伴ツテ増額等ノ考慮ノ餘地ハナイカト云フヤウナ御趣旨ノヤウデアリマス、此ノ問題ハ重大ナ問題デゴザイマスガ、ヤハリ國民全般ノ心構ヘト致シマシテハ、時艱ヲ克服シテ大東亞戰爭ヲ完遂スルト云フ心構デナケレバナラヌと思フデアリマス、輕々ニ之ヲ増額スルト云フコトハ、他面ニ於キマシテ官吏其ノ他ノ本俸ニ付テモ實ハ据置イテ、敢テ敢闘シテ進進シテ居ルト云フ實情デゴザイマス、慎重ニ考ヘナケレバナラヌと思フデアリマス、他面ニ於テ軍人援護ノ事業ニ付キマシテハ、既ニ皆模御承知ノ通り格段ノ努力ヲ拂ツテ其ノ方面ノ施策ニ付テハ事ヲ果敢ニ努メテ居リマス、昨年來又同時ニ今議會ニ提出サレマシタ厚生省關係ノ豫算ニモ其ノ施設ハ十分ニ盛ラレテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレ等ノ施設ト兩々相俟ツテ本法ヲ適正ニシナケレバナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス、一般的ニハ此ノ際恩給法等ノ増額ハ考慮シナイデ參リタイト考ヘテ居リマス、此ノ點ヲ御承認願ヒタイト思ヒマス

○林(信)委員 法制局長官ノ御説明能ク分ルノデアリマス、私モ同様ニ考ヘテハ見タイデアリマス、苟クモ軍人デアリ或ハ官吏デアルト云フ者ハ其ノ職ヲ退キマシテモソレダケノ「プライド」ヲ持ツテ居ラナケレバナラヌ、又持ツテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ人々ヨリ左様ナ聲ハ出ナイノデス、此ノ聲ノ出ナイト云フコトガ其ノ儘實情ニ副ウテ居ルヤ否ヤト云フ點ハ、政談演説式ノ説明ノヤウデスガ、聲ナキ聲ヲ聴クト云フ言葉ハ正ニ斯様ナ場合

ニ本當ニ考ヘラレル言葉デハナイカト思フノデアリマス、割ツテ言ヘバ政府ニ對シ弱イ立場ノ人ダトモ言ヘルノデアリマス、斯様ナ地位ニアル人々デゴザイマシテ、弱イト云フコトハ當ラナイカモ知レナイガ、半面ニ於テハサウ云フコトモ言ヒ得ルノデアリマス、デアリマスカラ是等ノ點ハ軍人援護等ノ關係ニ於テハサウデアリマセウガ其ノ他ノ官吏萬般ニ互リ自然ニ又ソコニ恩給以外ノ別ノ措置ガナサレ、一般ノ其ノ措置ガ不平等ニナツテ居リ、不公平ニナツテ來ルト云フコトニナレバ、聲ハ出ナクテモ、ソコニ一抹ノ面白カラザル感情ヲ持ツコトモナキニシモアラズデアリマス、此ノ點ハ今日此處解決シヨウトスル問題デハナイガ、戰局ノ推移ニ從ヒ今日モ非常ニ考ヘラレル時期デハゴザイマスガ、今日以上ニ更ニ物價ノ關係等ガ進シテ參リマシタ場合、常ニ恩典ナルガ故ニト云ツタヤウナ恩典ヲ與ヘル方ノ側カラノ考ヘ方カリデ、何時マデモ進シテ行キ得ル問題デハナイノデハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、今日ノ場合之ヲ押問答致スノデアリマセヌガ、少クモ將來ニ對シマシテハ深キ御考慮ヲ御拂ヒ下サルベキ問題デハナイカト思フノデアリマス、之ニ關聯致シマシテ、此ノ問題ハモウ是デ打切ルノデアリマスカラ參考ニ承ツテ置クノデアリマスガ、例ノ恩給金庫ノ貸出シ狀況ト云フヤウナモノハドウナツテ居リマスルカ、是等ノコトハ此ノ恩給額ノ増額ノ問題ト密接ニ關係ヲ持ツト思フ、貸出シノ現況ニ付キマシテ、及ビ之ニ關聯致シマスヤウナ參考ニナレベキ事項ニ付テノ御説明ヲ、只今デナクテモ宜シイノデアリマスガ、御示

シ願ヒタイト思フノデアリマス、是ト關聯致シマシテ、恩給受給者ノ數或ハ額等ニ付キマシテハ、丸祕ニナツテ居リマスノデ茲ニ私ハ申上ゲマセヌガ、少クモ人ノ關係ニ於テ可ナリ厄大ナ數ニナツテ來テ居リマス、其ノ人々ノ中ニハ軍人アリ、官吏ニ於キマシテモ、中ニ文官アリ技術官アリ、諸多ノモノガアルデゴザイマセウガ、サウ云フ人々ガ今日時局ニ如何ニ挺身シテ居ラレマスルカ、恐ラクハ非常ニ老齡ニ至ツテ居ラレマセヌ各位ニ於キマシテハ、ソレハノ部面ニ於テ大部分ハ御活躍ニナツテ居ルコト信ズルノデアリマス、ガ併シ又狀況ヲ詳細ニ御調査ニ相成リマスレバ、其ノ中ニハ遊休未働ト云フ言葉ハ變デアリマスルガ、サウ云フ各位モナイデハナカラウカト思フノデアリマス、苟クモ軍人トシテ、或ハ官吏トシ、國家ニ全生涯ヲ捧ゲタヤウナ各位デハアリマセウガ、尙ホ餘生ニ活動力ヲ保有致サレマスルナラバ、今日ノ此ノ時局ニ處、挺身以テ御奉公セラレ熟意ニ燃エテ居ラレルト思フノデアリマス、然ルニ間々左様ナ各位ニ致シマシテ、マダ其ノ所ヲ得ズシテ懣ミヲ吞ンデ居ラレル各位モナイデハナカラウカト思フノデアリマス、繰返サウデアリマスルガ、其ノ數ハ非常ニ多イトハ考ヘマセヌガ、是等ノ諸君ヲ恩給受給者義勇軍ト云ツタヤウナモノニデモ作りマシテ、是ガ指導本部ニ依ツテ適當ナル御指導ヲナサイマスルナラバ、其ノ所ヲ得ラール、部面モ多イノデハナカラウカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、勿論是等ノ各位ガ官吏ニナルト云フヤウナコトニナリマスレバ、恩給ヲ得ラレナイト云フヤウナ關係モアリマセウ、會社アレバ

ソレガ得ラレルト云フヤウナ關係モアリマセウ、併シ斯様ナ場合モ、時局ニ挺身致サレマスル熱意カラ來ルノデアリマスカラ、官廳ニ於キマシテハドウ云フ資格ナラバ宜イノカ、囑託トカ或ハ特例ニ依リマシテデモ、恩給等ニ支障ナク、在職當時ノヤウナ手厚イ俸給等ヲ支給シナクテモ、又働ク各位ニ於テ御要求ナサラズトモ、茲ニ活動ナサル氣持モ湧イテ來、又活動モ出來ルノデハナイカト思フノデアリマス、全國的ニ見マシテ斯様ナ各位ノ數ハ能ク存ジマセヌガ、是等ノ各位ノ指導ニ付テ、何等カノ御措置ヲ御考究ニナツテ居ルヤウナコトハアリマスカ否ヤ等ノ點ニ付モマシテ、併セテ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス

○三浦(一)政府委員 林委員ノ御質問ノ恩給金庫ノ經理狀況、貸出シトカ、サウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、後程恩給局長カラ御説明致シマス

第二ノ問題ハ、特ニ恩給受給者ヲ對象ニ致シマシテ、其ノ時局下ノ活動、狀況ニ付テ取調ベタモノハゴザイマセヌ、併シナガラ斯ウ云フ時局多端ノ際デゴザイマスシ、固ヨリ練達ノ方々モ澤山オアリニナルヤウデアリマスガ、是等ハ何レモ其ノ職域ヲ通ジ、社會ノ儀表トシテ御活躍ニナツテ居ルト云フコトハ、澤山ノ事例ガ見ラレテ居ルト思ヒマス、同時ニ又下級ノ方ノ受給者ニ付キマシテモ、大勢カラ申シマス、各方面ニ社會的ニ活動ヲ續ケテ時局ニ貢獻シテ居ル、斯ウ思ハレルノデアリマス、唯ハ一般ノト見ラレルノデアリマスガ、特ニ政府全體ト致シマシテハ、人材ヲ登用致シマシテ、各方面ニ御働キヲ願フト云フコトハ非常ニ大切ナコトデゴザイマスカラ、是ハモ

ウ一般的ニ特ニ考ヘテ行カネバナラヌト思ハレマス、唯此ノ際一言申添ヘテ置キタイコトハ、恩給法ノ此ノ際ノ改正ニモアリマス通り輕微ナ程度ノ疾病傷害等ニ依ツテ恩給ヲ受ケテ居ル方々モアル、是等ニ付キマシテ實ハ人の活動ヲ格段ニ強化シテ行キタイト云フ心組カラ、此ノ度ノ改正モ一部入ツテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ依リマシテモ、恩給法ノ運用ニ依リマシテモ、ヤハリ此ノ際十分ニ御働キヲ願フヤウナ仕組ニ致シタイ、斯ウ云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマス云フコトヲ申添ヘテ林サンノ御質疑ニ對スル御答ヘト致シマス

○古田委員長 大臣ガオ見エニナツテ居リマスカラ大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒマス

○林信(一)委員 私モ内務大臣ノイラツシヤル間ニ一言質問シタイ、法制局ニ關スル問題デゴザイマスガ、内務省關係ニモ御考慮願ヒタイ問題ガアリマス、ソレハ最近ノ法令ガ非常ニ複雑多岐ニナツテ居ル、自然國民ノ間ニ法ヲ知ラズ偶、違反ニ陥ルコトガアル、斯ウ云フ聲ヲ聞クノデアリマス、大體實情モ聊カ存ジテ居ル私トシマシテハ、ソレガ非常ニ大キナ數トハ存ジマセヌ、併シ稀ニハソレガアル、ソレ以外ニ大體法ノアルコトハ存ジナガラ其ノ解釋ニ於テ誤リマシテ、思ハズ是ガ違反ニナルコトガアル、實情ニ於テ非常ニ氣ノ毒ナ者ガアルノデアリマス、又サウ云ツタヤウナ違反關係ヲ考ヘマセヌデモ、或ル一ツノ事業ヲスル、取引ヲスル、サウ云フ場合ニ、其ノ法ヲ知ルコトガ非常ニ困難ノ閉口シテ居ル事例ハ多イノデアリマス、ソレヲシイコトヲ知ツテ居ルベキ辯護士ノ所ヘ駈

込ンデ見マシテモ、此ノ頃ノ行政關係、經濟統制法令等ニ付キマシテハ勿論サウ許シクハナイ、ソコデ縣廳ニ參リマシテ伺フ、或ハ手近カノ警察デ伺フト云フヤウナコトヲ致スノデアリマスケレドモ、是モ其ノ部面ニ限リマシテ、關聯シタモノニ付キマシテハ、動トモスルト徹底シタ説明ガ出來ナイ嫌ヒモアル、極端ナ事例ハ、或ル一家ニ於キマシテ、知識ヲ與ヘラレテ、之ニ依ツテ事ヲナシテ居リマス、豈ニ圖ランヤ、其ノ結果ハヤハリソレガ違反デアツタリ、時局のナ方面ニ向ヒマシタ事例ニ於キマシテモ、ソレハ許サレナイコトダト云フコトデ躊躇挫折ヲスルト云フ事例ガアルノデアリマス、ソコデ法ノ建前トシマシテ、法ヲ知ラナイカラト云フコトデ所罰ヲ免ルコトハ出來マセヌ、日本ノ法律ノ建前トシテ、是ハ嚴然タルモノデナクテハナラヌデセウ、併シ其ノ周知徹底方ニ付テハ、飽クマデ親切デナケレバナラヌト思ヒマス、併シ大體ニ於テ其ノ業者ト云フモノハ其ノ關係ノ面ニ於テハ知ツテ居ルト通常言ハレマス、大抵知ツテ居ルヤウデアリマス、一々呼付ケズトモ關係スル問題デスト新聞等デ見マスカラ一應存ジテ居ルヤウデアリマスガ、新タナコトヲナサントスルヤウナ場合ノ研究、或ハ其ノ細カナ條文ニ入ツテノ問題ニナリマス、ソレハ業者ト雖モ全部之ヲ知り得タリトハ言ヒ得ナイ場合ガ多イノデアリマス、ソコデ法制局ニ於テハ法令ヲ御作りニナリマスガ、其ノ周知徹底方等ニ付キマシテハ、或ハ内務省デヤツタリ、或ハ大藏省デヤツタリ、或ハ農商省デヤツタリ、或ハ司法省等ガ當ラレルヤウデアリマスガ、司法省ニ於キマシテハ多ク

ハ取締のナ立場、或ハ檢舉ノ面ガ多イ
ノデアリマス、ソコデ引括メマシタ國
民ニ對シマス本當ノ親切心ト云フモ
ノハ、ヤハリ法制局デ考ヘテ、サウシ
テ之ニ何等カノ御指圖ヲ加ヘテ裁キタ
イト平素念願シテ居ル者デアリマス、
言葉ハ惡イノデアリマスガ、法制局デ
ハ法律ヲ御作リニナリ、卵ヲ産ンデ見
タガソレヲ孵化スルコトヲシナイト云
フコトデハ、法制局ノ本當ノ親切デハ
ナイト思フノデアリマス、是等ニ對ス
ル御對策ヲ承リタイノデアリマスガ、
私ハ具體的ノ御願ヒトシテ斯ウ云フコ
トガ願ヘナイモノカト思フ、ソレハ一
縣一單位デ宜イノデアリマスガ、是ハ
應内ノ庶務課デモ、厚生課デモ、文
書課デモ適當ナ所デ宜イノデアリマス、
兎ニモ角ニモ國民ノ間ニ於テ法ヲ特ニ知
ラント欲スル場合ニ問合ハセガアリ
マスルナラバ、之ヲ各縣廳内ノ關係ノ
課、或ハ其ノ他ノ關係官廳ト連絡ヲ取
ツテ貰ヒマシテ、連絡ヲシテモ分ラナイ
コトハ調査ヲ致シマシテモ——一應備
付ケマシタ法令デ分ルデアリマセウシ、
分ラナイ部面ハ特ニ關係方面ト連絡ヲ
取ラレマシテ、サウシテ簡易ナ文書ノ
回答ニ應ズル、ソレデ足ラナケレバ出
頭ヲ求メテ能ク説明シテヤル係ガ、特
ニ澤山ノ人ヲ要スル譯デナク、態々專
門ノ者ヲ置カナクモ私ハ濟ムノヂヤナ
イカト思フ、何カノ關係シタ職務ヲ持
ツテ居リマス者ニソレ等ノコトヲ受持
タセテヤツテ貰ヒマシタナラバ、私ハ
法律命令ガ周知徹底サレズニ處罰サレ
ル者ガアル、難解デアルカラ處罰サレ
ル者ガアルト云フヤウナ非難ヲ受ケザ
ルコトハ勿論、新タニ事ヲナサント云
フ者ガ特ニ研究ヲ致シテ參リマス上
ニ、非常ニ便宜トナツテ其ノ親切心ニ

喜ブドラウト思ヒマス、唯此ノ際ニ御
願ヒシテ置カナケレバナラヌコトハ、
假ニ私ガ申上ゲルヤウナコトガ御考慮
願ヘテ御設置ニナルヤウナコトガアリ
マシテモ、サウ云フ機關ガアリマスコ
トヲ動トモスルト國民ハ之ヲ知ラナイ
ノデアリマス、忘レルノデアリマス、
我々ガ一ツノ戰時相談所ト謂フモノヲ
作リマシテモ、新聞等デ書イテ呉レマ
ストワツトヤツテ來ルガ、漸次ニヤツテ
來ナクナル、又新聞等ニ書イテ貰フト
又ワツトヤツテ來ル、是等ノ機關ガ假
ニ設置セラレルニ付キマシテモ、特
ニ斯様ナ意味ノ宣傳ヲシマシテ、是等
ノ者ノ不便ヲ除イテヤツテ戴キタイ、
斯ウ思フノデアリマス、主トシテ法制
局ノ御親切心ニ俟テタイノデアリマス
ガ、實際ノ面ニ於キマシテハ内務省ガ
御受持下サルノガ私ハ適當デハナイカ
ト思ヒマスノデ、出來マスレバ内務大
臣ノ御所見モ承リタイと思ヒマス

○三浦(一)政府委員 法令ノ周知徹底
ニ付キマシテハ林サンノ御意見デゴザ
イマスガ、實ハ非常ニ其鳴致シテ居リマ
ス、ザツクバランニ申上ゲマス、法
制局ハ法律ノ本山デスカラ一切分ツテ
居ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナ
ツテ居ルノデアリマスガ、昨今ノ印刷
行行カナカタツタリ、或ハ紙ガナイ、
法令集覽ノ整理ガ惡イト云フノデ、法
制局自體ガ法律ノ整理ニ苦シンデ居
ル、斯ウ云フ事態デゴザイマス、況ヤ
地方ノ官廳デアルトカ、又同時ニ民間
側ノ御苦心、困難ハ察スルニ餘リアリ
ト思フノデアリマス、就キマシテハ、
今内務大臣トモ御相談ヲ申上ゲテノ答
辯デアリマスガ、非常ニ示唆ノアル御
考ヘデアリマスカラ、特ニ考究ヲ致シ
マシテ、何カ今ノ線ニ沿ウタヤウナ簡

單ナ措置ヲ講ジマシテ、ヤハリ法令ヲ
徹底のニ周知サセル、サウシテ一面ニ
於テ澄法精神ヲ昂揚シテ、戰時下ノ法
律生活ヲシテ本當ニ明朗ナモノニシテ
參リタイト斯ウ考ヘマス、篤ト考ヘテ
見タイト思ヒマス

○川崎(二)委員 先刻政府委員ニ質問
致シマシテ、政府委員ガ答辯ヲ保留シ
タ點ニ付テ國務大臣ニ御尋ネヲシタ
イ、ソレハ恩給法ノ中ニ云フ軍屬ト云
フ範圍ヲ擴張スル意思ハナイカ、ソレ
デ法令及ビソレニ依ツテノ政府委員ノ
御說明ニ依ルト、公務員デ軍屬タル者ト
云フト、軍事ニ關係スル文官トシテ任
命セル者デケダト云フ話ニナツテ來ル
ノデアリマス、ソコデ恩給法ハ大正十
二年ニ制定セラレテ以來八回ノ改正ヲ
經テ、今回ハ九回目デゴザイマスガ、今
マデ右範圍擴張ノコトヲナサナイ、
東條内閣ハ二年餘リ存在シテ居ツテモ
シナカツタ、ソレハ必要ニ迫ラレナカ
タカト云フト、他ノ所デハ已ムヲ得ズ其
ノ改正ヲシテ居ルノデス、例ヘバ東條
内閣時代ニ所得稅法ノ中ニ一項目ヲ設
ケマシテ、第七條カト思ヒマスガ、公
務員ニシテ戰死シタル者ハ相續稅ヲ全
免スト云フコトニシテアリマス、サウ
スルト此ノ公務員ノ範圍ハドウカト云
フト、例ヘバ實際ノ問題ニナリマシ
テ、大洋丸ニ於テハ千名餘リノ會社員
ガ一度ニ死シタコトガアル、ソレ等ノ
遺產相續ヲドウ云フヤウニスルカト云
フ問題ニ打突カツタ時ニ、二年間ホド
愚圖々々シテ居リマシテ、何處ノ稅務
署デモソツチヘ押ツ付ケコツチヘ押ツ
付ケ、未解決ニナツテ居リマシタノ
ガ、昨年晩春ニナツテ斷大津丸ニ乗
込シテ派遣セラレタ如キ連中ニハ、特
ニ陸軍大臣等カラ是レノノ任務ト云

フ囑託狀ヲ受ケテ居ルノデ、是ハ公務
員デアル、公務員ガ敵ノ潜水艦ニヤラ
レタノハ戰死ダト云フコトニ、二年餘
リモ掛ツテナリマシテ、全免スルノ適
用ヲ昨年ノ夏以後始メタノデゴザイマ
ス、サウスルト他ノ方デモ相續稅法、ヤ
何カ段々公務員ノ解釋ヲ擴張シテ來
ルナラバ、恩給法デモ擴張シナケレバ
ナラヌデヤナイカト云フ感想ヲ我々國
民トシテ持ツノデアリマス、況ヤ今回
ノ戰爭ハ戰爭ノ範圍ガ極メテ六キク擴
マツテ參リマシテ、各種ノ人間ガ各種
ノ任務ヲ勤メルノデゴザイマスカラ、
文官トセラレナイ人間デアツテモ、澤
山戰爭ニ依ツテ殊勳申ト云フコトデ勳
章ヲ貰ツタリ、何カ昨今ノ新聞ニ出テ
居ルヤウナ譯デアリマスガ、其ノ遺族
ニ對シテハ此ノ條文ニヨリハ爲ニ國
家ノ恩給ヲ與ヘナイト云フコトニナル
ト、甚ダ不十分デナイカト我々國民ハ
察スルノデゴザイマス、併シ今度ノ改
正ニソレ等ノ點ガ出テ居ナイノハ、今
度ハ差當リ特攻隊ノ遺族等ヲ主トシタ
ル應急ノコトダト云フナラバ、ソレデ
了承致シマスガ、ソナナ大キイコトマ
デハ忙シイ中デ手ガ届カナカッタト云
フナラバ宜シイガ、サウ云フ意思ガナ
インダト云フ内閣ノ御意思ナラ、是ハ又
我々國民トシテ此ノ戰時ニ於テ考ヘナ
クテハナラヌ、デアルカラ内閣トシテ
ハ其ノ軍屬ノ範圍ヲ擴張スル意思ガア
リヤ否ヤト云フコトノ御質問ヲ、此ノ
委員會ヲ通ジテ御聽カセ戴キタイト云
フコトヲ御願ヒ致シマス

○三浦(一)政府委員 川崎サンノ御意
見能ク分リマシタ、恩給法ノ根本ノ建
前ハヤハリ文武官ト云フコトニナツテ
居リマスカラ、隨テ御擧ゲニナリマシ
タヤウナ所謂軍ノ囑託、廣イ意味デ軍

屬ト云ツテ居ルヤウデスガ、是等ニ及
ボシ得ナイ建前ニ現在ハナツテ居ル譯
デアリマス、併シ同ジ公務員ト云ツテ
モ各法律ニ依リマシテソレノノ立法
ノ趣旨ガアリマスノデ、所得稅法デア
ルトカ或ハ何法ト云フコトデ、公務員
ト云フ場合ニハ其ノ意味ノ規定デ保護
シテ居リマスガ、恩給法ノ方ハ今申上
ゲルヤウナ非常ニ限定的ナモノニサレ
テ、ソレガ根本ニナツテ居ル、斯ウ云
フ建前デアリマス、將來サウ云フ風ナ
輕イモノト云ヒマスガ、嚴格デナイモノ
ト云ヒマスガ、其ノ範圍ニ及ボスカド
ウカト云フコトハ重大ナル問題デアリ
マシテ、只今ノ所恩給法ノ建前ト致シ
マシテハ是ハ入ツテ居リマセヌ、併シ
今御擧ゲニナリマシタヤウナ範圍ニ屬
スル人々ドウ扱フカト云フコトハ重
大ナル問題デゴザイマスルノデ、是ハ政府
トシマシテモ廣イ角度カラ考究シナケ
レバナラヌ問題ダト斯ウ考ヘテ居リマ
ス、差當リ恩給法ハ適用致シマセヌ
コトハ先程申上ゲマシタ通りデアリマ
ス、唯各般ノ角度カラ色々研究シテ見
ナケレバナラヌ、斯ウ存ジテ居リマス
○金子(定)委員 恩給法ノ改正案ハ、
特ニ神風特攻隊ナド一身ヲ神ト致シマ
シテ國體ヲ護持シツ、アル軍人ノ爲
ニ、深イ考慮ガ拂ハレテ居ルノデアリ
マシテ、洵ニ感激ニ堪ヘナイ次第デゴ
ザイマスガ、是等ノ神風特攻隊軍人ノ
中ニハ朝鮮出身ノ者モ相當ニ含マレ
タル開城ノ名門ノ子息ノ松井伍長、
林白ノ二伍長、是ハ今少尉ニナツテ居
リマスガ、時恰モ朝鮮、臺灣同胞ノ處
遇問題モ國民ノ間ニハ相當關心ヲ持タ
レテ居リマス此ノ際ニ、私内務大臣ニ
御伺ヒ致シマシテ力強い御答辯ヲ得マ

シテ、之ニ應ヘタイト思フノデゴザイマス、朝鮮出身ノ神風隊員ハ其ノ外ニモ澤山居ルノデゴザイマスガ、私ハ此ノ間京城デ毎日新報ノ社長ノ金川聖ト云フ人ノ許デ、金川社長ノ友人ノ子供ノ洪原忠勇ト云フ二十歳ノ若人、是モ神風隊員デゴザイマス、其ノ人カラ金

發表ヲ見テ、毫爾トシテ死ニ就ク者モゴザイマセウシ、一日發表ガ早ケレバ早イダケ半島ノ人心ニ影響スル所モ多デアルト思フノデアリマス、今國家ノ爲ニ死ニ就カントスル忠臣ニ對スル錢ケトシテノ内務大臣ノ御所見ヲ御發表願ヒタイト思フノデアリマス

願ヒタイト思フノデアリマス

的二顯現シテ行クカト云フコトガ統治

リタイト考へテ居リマス

歳ノ子供ニハ良イ國家ノ立場ヲ與ヘテ

ノ黎明期デアツテ、而モ太陽ガ東カラ
出ルモノカ、西カラ出ルモノカ分ラナ
イ、一生物命東ヲ見テ居ル者ニ此ノ際
先ヅ満足セシメルコトガ大事ダト思ヒ
マス、而モ一刻モ早ク太陽ガ出シテ此
ノ黎明ヲ照ラスト云フコトガ大事デア
リマス、光ハ東方ヨリト申シマスルガ、
若シ民衆ガ誤ツテ何時マデモ太陽ガ西
カラ出ルモノト考ヘマシタラ、是ハ國
家ノ不祥是ヨリ大ナルハナイノデアリマ
ス、ドウゾ當局ト致シマシテハ、一刻
モ早ク此ノ問題ノ實現セラレマスヤウ
ニ冀フ次第デゴザイマス

ヌガ、之ニ付キマシテモ相當日本内地人ニ對スル啓蒙ガ大事ダト思ヒマス、ドウモ方々ノ空氣ガ朝鮮問題ノ重大デアルト云フコトヲ知ザナガラ、疑惑ヲ持ツタリ無關心デアツタリスル、朝鮮ヲ御監督ナサル内務當局ニ取リマシテモ、啓蒙ノ爲ニ一層御努メノ義務ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ關シマシテ御所見ヲ承レバ幸ヒト思ヒマス、或ハ承ラナクテモ宜シウゴザイマス、是ニテ私ノ質問ヲ終リマス

○大達國務大臣 全ク御同感デアリマス、殊ニ此ノ戰爭ノ前ト違ヒマシテ、此ノ戰爭ニナツテカラハ日鮮、日臺ノ關係ハ非常ニ急激ナル速度デ融合シテ參リマシテ、戰場ニ肩ヲ竝ベテ艱苦ヲ共ニシテ居リマス感激のナ場面ガ相次イデ起ツテ居ル、其ノ間非常ナ躍進ヲ遂ゲテ居ルモノト確信シテ居ルノデアリマシテ、左様ナ感激ノ際ニこそ此ノ問題ガ解決サレルト云フコトハ非常ニ望マシイト考ヘテ居リマス、御話ノ中ノ特ニ内地人方面ノ啓蒙ト申シマスカ、此ノ問題ニ對スル認識ヲ深メテ行

タ、是非非常ニ大事ナコトダト思ヒマ
ス、全ク同感デアリマスノデ、銳意之
ニ努メテ参リマシテ早く實現スルヤウ
ニ努メタイト考ヘマス

○川崎(巳)委員 防空ノ立場カラ今ノ
公務員ノ問題ニ付一言伺ツテ見タイ
ト思ヒマス、此ノ頃ハ内地ノ方々で交
戰狀態ニナリマシタカラ神經ガ鈍クナ
リマシタガ、昨年北九州ノ空襲ガ始マ
リマシテ、皆ガ非常ニ心配シテ居リマ
シタ時ニ、アノ纖弱ナル女子ノ電話交
換手ガ、皆職場ニ止マツテ、夜中色々
ナ所要ノ任務ヲ果シタト云フコトデ、
アチカラ來タ人間ガ大變感激シテ居
リマシタ、サウスルト此ノ女子ノ交換
手ノ上ノ方ノ監督長ハ文官カモ知ラヌ
ガ、電話ヲ繋グニハ小サナ子供モ手傳
ツテ居ルノデカラ、皆ガ皆公務員デハ
ナイダラウト思フ、是等ハドウナルカ
ソレカラドソノ彈丸ノ來ル間ヲ、危
險ヲ冒シテ防空ノ關係ニアル擔任ノ役
人ヤ公人共ノ自動車デ以テ運シテ來
ル運轉手、是ハ必ズシモ官廳ノ判任
官、雇ト云フモノデハナイモノガアル
ダラウト思フガ、之ニ對シテ何カ保護
スル方法ガナケレバ、平生ナラ兎モ
角、彈丸ノドソノ落チル時ニハ御免
蒙ルト云フ心理ニナラヌトモ限ラヌ、
サウ云フ問題、ソレカラ門司ヤ何カデ
荷揚人足ガ皆不足ニナツタ、「マライ」
半島カラノ「オランダ」人若シクハ「イ
ギリス」人ノ僱傭労働者ヲ連レテ來タ
ガ、之ヲ皆一時或ル場所ニ片付ケタ
ト云フ話デス、又鮮人労働者ハ逃ゲテ
シマツタ、日本人ノ荷揚人足ハ皆警防
團デ、大抵歸ツテシマツタ、仕樣ガナ
イノデ華人ノ労働者ヲ使フ、是ハ金サ
ヘ出セバト云フノデ、是ガ奮闘シテド
ウヤラ急ギノ荷物ヲ間ニ合ハシタト云

フコトガアルノデアリマス、是等ノ華
人労働者ヲ引出シテ、燒夷彈ナリ、爆
彈ナリ落チルト云フアノ騒ギニ、纏メ
テ荷役ヲサセルト云フノハ中ノ仕事
デス、是ハ必ズシモ軍屬ト云フ看板ヲ
掛ケタ文官デハナカッタラウト思フ、
國家ノ交通運輸ニ關スル重要ナ役目ヲ
シタ、ソレガ皆文官軍屬デナイ爲ニ、
折角ノ恩給法カラハミ出ルヤウナコト
ニナツテハ片手落ニナリハセヌカ、左
様ニ事例ヲ列ベタラ限リモアリマセヌ
ガ、一、二ヲ例示スレバ左様ナモノモ
アルノデアリマスカラ、此ノ際モウ少
シ軍屬公務員ノ範圍ヲ擴メテ、太陽ノ
暖カサガ何處ニモ及ブヤウニ、國家ト
シテノ恩給法ノ範圍ヲ擴張シナケレバ
ナラヌゾデハナイカト思フノデアリマ
ス、重ネテ政府當局ノ御決心ヲ伺ヒマ

○三浦(一)政府委員

斯ウ云フヤウニ
戰局ガ苛烈ニナリ、國內ニ於キマシテ防
衛竝ニ實戰ニ直面シテ參ツタノデアリ
マスカラ、是等ノ戰時災害ヲ受ケル者
ガ、逐次擴大シテ參リマスコトハ、勢
ヒノ赴ク所實ハ當然ノ歸結ニナツテ參
ツタノデアリマス、就キマシテハ是等
ノ戰時災害カラ一面ニ於テハ灼熱セル
政團精神ヲ以テ、體當リ的態度デヤラ
セルト云フコト同時ニ、之ニ即應シ
テ手厚イ保護ヲシナケレバナラヌト云
フコトニナルコトハ、川崎サンガ御述
ベニナリマシタ通りデアリマス、唯之
ヲ保護スル場合ニ、組立テル場合ニ、
恩給ノ方ノ制度デ行ケカ、或ハ其ノ他
ノ制度デ行ケカ、斯ウ云フ風ニナル
譯デアリマス、即チ一般國民ニ對シマ
シテハ例ノ戰時災害ノ保護法ガゴザイ
マス、ソレヲ基礎ニシ、更ニ又職域ニ
依ツテ各々其ノ職域ニ適應シタル施設

ヲ逐次擴大シテ參ツテ居ルノデアリマ
ス、デアリマスカラ事情々々ニ應ジテ
ヤツテ參ラナケレバナラヌト考ヘルノ
デアリマス、隨ヒマシテ國家ノ爲ニ、
謂ハバ一身ヲ捧ゲテ仕事ヲシナケレバ
ナラヌト云フ官吏等ニ付テハ、實ハモウ
法規上ノ義務ガドウノ斯ウノト申スヨ
リモ、一身ヲ犠牲ニシテ國家ニ御奉公
シナケレバナラヌト云フ建前デゴザイ
マスカラ、若シ夫レ職場ヲ離レテ逃ゲ
タリ或ハ又其ノ場ヲ去ルト云フコトデ
アリマスレバ、是ハモウ寧ろ官吏法上
ノ罰ヲ受ケテ、重大ナ責ヲ負ハナケレ
バナラヌト云フコトニナルノデゴザイ
マスカラ、唯單ニ職場ヲ守ル守ラヌト
云フ點ニナルト、一般ノ、或ハ埠頭デ
仕事ヲスルトカ、又御引例ニナリマシ
タ自動車ノ運轉手トハ必ズシモ同一デ
ナイコトハ御諒承願ヘルト思フノデア
リマス、但シ一般國民ト雖モ、義務ハ
ドウノ、權利ハドウノト云フコトヲ言
ハズ敢斷シナケレバナラヌコトハ御説
ノ通りデアリマス、戰時災害ニ伴フ國
家ノ施設ヲ強化擴充シテ、國民全般ガ
體當リノ自動クト云フ式ニ進ムコトニ
付キマシテハ、ソレヲ根本のナ方針ト
シテ進シテ居ルト云フコトヲ御諒承願
ヒタイト存ジマス、併シナガラ御覽ニ
ナリマシタ通り尙ホ及バザル點ガアラ
ウカト思ヒマスガ、是ハ十分ニ御説ヲ
拜聴シテ、各般ノ施設ノ整備刷新二十
分寄與シテ參リタイト存ジマス

次ニ官廳側ノ仕事ヲシテ居リマス所
謂雇傭員、是ガ先程御指摘ニナリマシ
タ電信電話等ノ女子達ノ處遇ニナル
譯デアリマスガ、是等モ恩給制度ニハ
均霑シテ居リマセヌガ、相當ナ保護ハ
シテ居リマス、併シナガラ御説ノ通り
尙ホ及バザル所ガアル、之ニ付テ尙ホ

考ヘルト云フコトニ付キマシテハ、御
質問ノ趣旨ハ十分了承致シマシテ、其
ノ對策ニ付鋭意研究シテ、實現ニ努力
シテ參リタイト考マス

○古田委員長

午前中ハ此ノ程度デ休
憩致シマシテ、午後一時カラ再開致シ
マス

午後零時五十分休憩

午後一時二十五分開議

○古田委員長

ソレデハ只今ヨリ會議
ヲ再開致シマス——坂東幸太郎君

○坂東委員

私ハ簡單ニ朝鮮並ニ臺灣
人ノ政治參與ニ關シマシテ政府ノ御意
見ヲ伺ヒマス、從來朝鮮、臺灣ニ關シ
テハ、多數ノ議員ハ、アノ重要地デア
ルカラシテ將來ヲ慮ツテ、サウシテ彼
等朝鮮人、臺灣人ヲシテ政治ニ參與セ
シムル方ガ宜シイト云フ意見ガ起ツテ
居ツタノデアリマスガ、以前ニハ偶々
臺灣ノ方カラハ臺灣議會設立設置ノ請
願ガアリ、又朝鮮ノ方カラモ同ジ請願
ガアリマシタガ、請願ガアル度毎ニ政
府ハ凡ユル壓迫干涉ヲ加ヘテ、サウシ
テ衆議院ノ請願委員會ニ向ツテ其ノ撤
回ト力審議未了ト力、不都合千萬ノ運
動ヲ政府デハシテ居ツタノデアリマ
ス、例ヘバ數年前ニ志願兵制度ノ請願
ガアツタ、其ノ時分ニ請願委員會ガ開
カレテ政府ハ反對ノ意思ヲ表明シ、朝
鮮人ノ文化ガ低イトカ何ト力難辯ヲツ
ケテ非常ニ反對ノ態度ヲ執ツタ、之ニ
對シテ衆議院ノ請願委員會ハ滿場一致
ヲ以テ之ヲ可決シマシタ結果、慥カ其
ノ翌年カラ其ノ志願兵制度ガ實施セラ
レルト非常ニ成績ガ宜シイ、事毎ニ日
本ノ政府ハ朝鮮臺灣人ニ對シ朝鮮臺灣
ノ役人共ハ壓迫干涉ノ態度ヲシテ居ツ
タ、ソレガ爲ニ朝鮮人、臺灣人ハ實ハ

日本ノ政府ヲ信ジ日本ノ議會ハ信頼ス
ルガ、朝鮮臺灣ノ役人方ヲ信ジナイト
云フノガ其ノ本音デアリマス、隨テ現
在甚迫ツタ時期ニ於テ今朝鮮臺灣ニ對
シテハ餘程思ヒ切ツタ方針ノ下ニ即チ
政治參與ヲサシムルト云フコトガ、
最モ必要ト云ヒ得ルノデアリマス、
此ノ間朝鮮カラ或ル人ガ東京ニ參リマ
シテ言フノニ、其ノ人ノ持ツテ居ツタ
鐵山ガ、朝鮮總督府ノ高官ノ關係アル
人ニ、三十何萬圓掛ツタ所ノ鐵山ヲ入
萬何千圓デ強制的ニ贖渡セシメラレタ
ト云フコトデ憤慨シテ、ソレガ善後策
的請願書ガ衆議院ニ提出サレテ居ルケ
レドモ、僕ノ察スル所ハ此ノ請願書ニ
對シテモ、或ハ役人共ガ手ヲ廻ハシテ
之ヲ撤回シテ呉レト力、審議未了ト力
ヲ迫ツテ來ルカモ知レヌト思ヒマス、
日本ノ役人ハ朝鮮、臺灣統治ニ付テノ
眼識ガ低イ、現政府ハ之ニ付テ方針ヲ
立テタヤウデアリマスケレドモ、今朝
鮮、臺灣人、殊ニ朝鮮人ノ方カラ聽キ
マス、今政府ノ聲明スル所謂朝鮮、
臺灣人ニ對スル一種ノ緩和策的ナル調
査會設置ノ如キハ問題デナイ、イマ少
シ思ヒ切ツタ方針ヲ以テ、臺灣、朝鮮
居住住民ニ自由ヲ與ヘテ貰ヒタイト云
フコトヲ懇望シテ居ルノデアリマス、
此ノヤウナ次第デアリマスカラ、政府
ハ須ラク朝鮮、臺灣臣民ノ本當ノ腹ヲ
洞察研究シテ之ニ對處スル所ガナケレ
バナラヌト思フノデアリマスガ、之ニ
對スル當局ノ御所見ヲ御伺ヒ致シタイ

○三浦(一)政府委員

朝鮮、臺灣在住
民ニ對スル處遇改善ニ付キマシテ、御説
ノ通り昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ總
理大臣ノ所信ヲ明カニシ、サウシテ其
ノ後著々對策ヲ執ツテ參ツタノデアリ
マス、第一一般處遇ニ付テハ先般閣

議決定ヲ以テマシテ、各般ノ施設ニ付
キマシテ拔本的ナ施設ヲ講ズルコトニ
ナリマシテ、其ノ綱領ハ政府ノ重要ナ
施策トシテ發表ヲ致シマシタ、同時ニ
又著々實施ニ移シテ居リマス、其ノ次
ニ政治參與ノ問題ニ付キマシテモ、事
ハ我が國ノ憲法附屬ノ重要法案デア
貴族院令ノ改正、衆議院議員選舉法ノ
改正ニ伴ヒマスモノデスカラ、特ニ慎
重ヲ期スルト云フ觀點カラ調査會ヲ設
ケマシテ、爾來著々研究致シテ居ルコ
トハ御承知ノ通りデアリマス、之ヲ實
施シマスニ付キマシテノ根本的ナ態度
ハ、實ハ先程本席ニ於キマシテ內務大
臣カラ詳細ニ御述べニナリマシタ通
リ、明治大帝ノ一親同仁ノ御聖旨、
列聖相繼イデ此ノ御聖旨ノ下ニ朝鮮、
臺灣ニ對スル政治ガ執行ハレテ居ル
デアリマスガ、其ノ線ニ沿フテ強ク實
施シテ參ラナケレバナラヌト云フコト
ハ御説ノ通りデアリマス、尙ホ此ノ度
政治處遇ニ關聯シマシテ、私ハ實ハ特
ニ此ノ朝鮮ニ對スル施政ノヤリ方ニ付
キマシテノ推移變遷ト云フモノヲ見テ
參リマシタ、即チ大正八年、當時ノ總理
大臣デアラレタ原敬氏ガ、自ラ筆ヲ執
ラレテ、實ハ朝鮮ニ對スル施政ノ根本
方策ヲ、當時ノ總督並ニ政務總監ニ特
ニ示サレテ居ルデアリマス、其ノ時
ノ總理大臣ノ御考ヘナドハ、條理正シ
イ實ニ堂々タル所信ヲ披露セラレテ居
ルノデアリマス、ソレヲ見マシタ時
ニ、私ハ實ニ感慨無量デアツタノデア
リマス、今コソ本當ノ意味ノ一親同
仁、而シテ内外一體ニナツテ、此ノ大東
亞戰爭ノ完遂ニ邁進スルト云フ皇國ノ
姿ガ生レテ來テ居ルノデハナйкаト思
フノデスガ、此ノ政府ノ今後施策セン
トスル根本趣旨ハソコニアラウカト私

ハ存ジマス、同時ニ又只今御指摘ニナ
リマシタヤウナ朝鮮、臺灣關係ノ役人
ノ人達ニ不心得ナコトガアツテハイカ
ヌト云フコトニ付キマシテハ、固ヨリ
政府トシテ十分ナル戒心ヲ持ツテ行カ
ナケレバナラヌコトデアリマスガ、只
今デハ一般的ニ朝鮮、臺灣ノ人々モ、
關係ノ役人ノ人達モ、左様ナ不心得ナ
考ヘヲ持ツテ居ラヌヤウデアリマス、
我々トシテ十分注意シテ行キタイト考
ヘテ居リマスガ、政治處遇ニ對スル政
府ノ考ヘ方ノ根本的ナ方面ニ付キマシ
テハ、今御説明申上ゲタ通りデアリマ
スカラ、御諒承願ヒタイト存ジマス
○坂東委員 是ハ新シイ政府委員諸君
ノ有力ナル御參考ニモト思ヒマシテ昨
年起リマシタ一ツノ事實ヲ申上ゲテ置
キマス、ソレハ昨年ノ春、朝鮮ニ特別
法ヲ以テ選舉權ヲ與フベシト云フ請願
ガ出テ私ガ紹介致シマシタ所ガ當時
ノ委員長清水留三郎君カラ私ニ電話ガ
掛ツテ來テ、アノ請願ハ御尤モデア
ルガ、現在ノ時局ニ於テドウモ一寸心配
ナ點ガアルカラ、何トカ撤回シテ戴
キタイトハ言ヘヌガ、幾分緩和シテ貰
フ方法ハナイダラウカト云ツテ來タ
デス、ソレデ私ハソコナコトヲ言ツテ
來ルコトハ實ニ怪シカラヌト云ツタ
デシタ、所ガ清水君ニハ內務及ビ、朝
鮮總督方面カラ色々電話ガ掛カツタ
シキ、終ヒハ總理大臣カラマデ電話ガ
來タ模様デシタ、元來特別法ヲ設ケテ
政治參與權ヲ與ヘルト云フコトハ時局
柄尤モナコトデアアルニ拘ハラズ、ソ
レヲスラ與ヘナイ考ヘノ下ニ彼此諸願
ヲマデ抑制運動ヲスルノハ實ニ怪シカ
ラヌコトト思ヒマス、私ハ清水君ト親
シシ、又清水君ハ朝鮮、臺灣ニ對シ
テ非常ニ關心ヲ持テ理解アル人デア

マスカラ、ソコデ清水君ト相談ノ上本請
願ノ必要ナルコトヲ強調シテ置イテ、
結局ノヲ政府參考送付ニシタ實例ガア
ルノデアリマス、デアルカラ先程金子
委員カラモ御話ガアリマシタガ、兩地
統治問題ニ付テ我ガ國民間ノ蒙リ啓ク
必要アリトセバ、先ツ以テ政府役人諸
君ノ蒙リ啓クコトガ先決問題ナリト、
私ハ過去ノ事實ニ鑑ミ、責任ヲ以テ斷
言シ得ルノデアリマス、今ヤ我國ニハ
殘念ナガラ既ニ火ガ付イテ居ルノデア
リマス、而シテ朝鮮臺灣ハ我ガ本國ノ最
モ大切ナル第一線デアリ外壁デア
ル、此ノ朝鮮、臺灣ノ三千五百萬ノ同胞ニ
對シテ、心カラ其ノ統治ニ感激スルヤ
ウナ方途ヲ執ラナケレバナラナイと思
ヒマス、單ナル「インチキ」ト思ハレルヤ
ウナ根本方針見セバカシシヤウナ
コトヲシタケデハ決シテ満足シ得ナ
イデハナイカト思フノデアリマス、故
ニ此ノ際思ヒ切ツテ特別法ヲ制定シテ
政治參與權ヲ與フベキデアルト考ヘ
ラ、出來ル限り速カニ貴族院、衆議院
ニ議員ヲ出スヤウナ方法ヲ執ラナケ
バナラナイト思ハレテナリマセヌ、尙
ホ重ネテ政府ノ御所見ヲ御伺ヒ致シマ
ス
○三浦(一)政府委員 政治參與ノ方途
ニ付キマシテモ、御説ノヤウニ、貴衆
兩院ノ構成ニ參加サレト云フコト
ヲ目標ト致シマシテ、今調査會等ニ於
テ審議ヲ進メテ居リマスカラ、準備
整ヒ次第實現ニ移シテ參リタイト云フ
固イ決心ヲ持ツテ居リマス、左様御諒
承願ヒタイト思ヒマス
○坂東委員 私ハ國家ノ爲ニ是ガ直チ
ニ實現セラレシコトヲ切ニ要望致シマ
シテ、私ノ質問ヲ終リマス

○平本政府委員 先程恩給金庫ノ利用
狀況ニ付キマシテ御質問ガアリマシ
タ、ソレニ付キマシテ御答ヘ致シマ
ス、恩給金庫ノ利用狀況ヲ申シマス
ト、昭和十三年ニ設立以來漸次貸付額
ガ増加シテ參リマシテ、昭和十七年
末ニ於キマシテハ、八千四百萬圓ト
云フ、最高額ニ達シタノデゴザイマス、
ソレ以後多少減額致シマシテ、昭和十
九年十二月、即チ昨年末ニ於キマシ
テハ七千八百萬圓ト云フ貸付總額ニナ
ツテ居リマス昭和十七年ガ最高デア
リマシテ、ソレカラ多少減ジテ居ル狀
況デアリマス、昨年未現在、貸付高ハ左
様デゴザイマスガ、其ノ貸付口數、人
員ハ九萬六千口、大體十萬人デアリ
マス、今ノハ貸付デアリマスガ、之ニ
ヒマシテ恩給金庫ニ寄託スル方デア
リマス、恩給受領ノ恩給金庫ニ委託致
シマシテ、其ノ儘自分ノ貯金ニスル
フ寄託ノ方ハ、貸付ノ方ハ多少減
テ居リマスガ、寄託ノ方ハ漸次殖エ
テ、昨年末ニ於キマシテハ二千二百萬圓
ト云フ數字ニ上ツテ居リマス、此ノ寄
託口數ハ三萬八千件、斯ウ云フ狀況
デゴザイマス、是ガ大體恩給金庫ノ
貸付狀況デゴザイマス
○金子(定)委員 陸軍當局ニ御尋ネ
シマス、恩給法ノ改正案ニ於キマシ
テ、特ニ神風特攻隊 陸軍ノ方デハ何
ト仰シヤツテ居ルカ知リマセヌガ、民
間デハサウ云ツテ居リマス、是等國民
ノ感激ノ的トナツテ居リマス國難救
濟ノ忠靈ニ對シマシテ配慮ヲ拂ハレ
タコトハ、一億國民洵ニ感謝スル所
デアリマス、是等ノ忠靈ハ其ノ神格ヲ
靖國神社ニ合祀仰セ出サレコトト私
カニ信ズル次第デゴザイマスガ、事ハ全
ク光輝アル皇國ノ史上ニ於キマシテ

曾テナイ所デゴザイマシテ、團體護持
ノ爲ニ後世永ク絶大ナル偉勳ヲ示シ
マシテ、日本ノ臣道實踐、軍人道實踐
面ニ新シイモノヲ劃シタトサヘ言ヘル
ト思フノデアリマス、國民ノ多クハ是
等忠勇ノ神靈ヲ祀リスル爲ニ、特別
ナル神社、例ヘバ神風神社ト云フヤウ
ナ聖祀ヲ欲シテ居ルノデゴザイマス、
靖國ノ神社ニ特ニ關係ノ深い陸軍當局
ノ御見解ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○大島政府委員 政務次官トシテ御答
ヘヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ハ特攻
隊戰死者ハ靖國神社以外ノ特別ノ神社
ニ合祀セラル、如ク取計ラフ考ヘナ
リヤ否ヤト云フ御質問ト承リマシタ、必
死必殺ノ特攻隊戰死者ニ對シマシテ
ハ、其ノ忠烈眞ニ皇國ノ危急ヲ救フ
ノデアリマスルコトヲ思ヒ、國家ニ於
テモ精神的優遇ヲ基幹トスル諸般ノ措
置ニ遺憾ナキヲ期セラレツ、アルノ
デアリマス、即チ既ニ金鵄勳章、特旨
旨及ビ特別進級ノ恩召ヲ拜シテ居
リマシテ、又其ノ上ニ恩給法改正ニ付
キマシテモ二階級以上特進者ニ、特別
ナル恩典ヲ浴セシムル如ク立案セラレ
タル次第デゴザイマス、而シテ申ス
モ恩多
イコトデゴザイマスガ、靖國神社ハ
御上ノ特別ノ恩召ニ依リマシテ建設
セラレ、畏クモ御親拜ヲ賜ハシテ居
リマス、全軍將兵ハ親シク此ノコトヲ拜
聴シテ感激致シ、一死盡忠ノ念ヲ固
メツ
ナル次第デアリマシテ、特攻隊ノ將
士ニ付キマシテモ是ハ此ノ上ナキ殊
遇ナリト信ジテ現在働イテ居ル次第
デア
リマス、簡單ナガラ之ヲ以テ答辯ト
致
シマス
○金子(定)委員 只今ノ御答ヘハ私
モ陸軍ニ鑑ミ置ク一人デゴザイマシ
テ、能ク分リマス、唯此ノ際一言附加
ヘテ

置キタイノハ、靖國ノ神靈、御柱ノ中ニハ特ニ維新ノ志士ヲ中心ニ、他ノ神社ニ御祀サレテ居ル神々モアルノデゴザイマス、オ上ノコトハ此處デロニスルモ憚リマスガ、輔弼ノ任ニ當ラレマス陸軍ノ首腦ニ於カレマシテハ、他ノ例ヲモ御參酌ニナリ、特ニ我が國民一億、大東亞十億ノ感激デアリマスル今同ノ特攻隊ヲ先驅トシテ神靈ニ對シマシテ、只今御答辯ノ外ニ、若シ御考ヘノ餘地ガアリマスルナラバ、一層ノ御考慮ヲ煩ハスコトヲ切ニ希望致シマス、尙ホ是ハ是カラ先、或ハ請願或ハ建議等ノ形式ヲ以テマシテ出ルノデハナイカト思ハレル節モアリマスノデ、特ニ御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○大島政府委員 御趣旨ノ點ハ拜聴致シマス

○金子(定)委員 實ハ先程カラ恩給法ノ改正ニ伴ヒマシテ朝鮮、臺灣ノ問題ガ屢、質問ヲサレ、御答辯ヲ受ケテ、居ルノデゴザイマスガ、ソレニ關聯致シマシテ、私最近朝鮮カラ參リマシタノデ、尙フノ實情ヲ述ベマシテ厚生當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、朝鮮ハ、率直ニ申上デマスルト、一昨年、昨年、日本内地ニ對スル米ノ供出ガ度ヲ越シテ居ツタノデゴザイマス、其ノ影響バカリトハ申シマセタガ、兎モ角モ現在相當ノ食糧難デアリマス、是ガ一ツ、徵用ト韓旋ニ依ル勞務者ノ内地進出、是ハ御承知ノ數デゴザイマスガ、其ノ家族ノ狀態——内地ニ來マシタ徵用韓旋ニ依ル勞務者カラ文通ハ殆ドナイノデアリマス、送金モ非常ニ乏シイノデアリマス、通信ノナイノハ内地デ調ベマスルト葉書ガ手ニ入ラナイ、是ハ在營ノ兵士サヘ中々葉書ガ手

ニ入ラナイ現狀デアリマスカラ、無理カラヌコトデアリマスガ、送金ノナイノハ勞務者ガ賭博ト飲酒ニ金ヲ使フコトヲ悞レテ、總督府ト事業主トノ協定ニ依ツテ、事業主ノ手ヲ經テ送金ヲシヨウト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、私ガ調ベマシタ數箇ノ村ニ付テ申シマス、一年半ノ間二百二十圓ガ最高デ、二十圓ガ一番少イ、所ガ少クトモ來テ居ルノハ結構ナノデアリマスガ、是ハ半數ニシカ上ラナイ、後半數ハ一文モ送金シテ居ナイ、數字ニ多少誤リガアルカモ知レマセタガ、全體ノ空氣ハ斯様デゴザイマス、尙ホ此ノ徵用供出ニ依ル勞務者ノ家庭ハ、朝鮮中デハ下級下等ノ極貧シイ生活ヲシテ居ルノガ大多數デアリマス、家族ノ中デハ此處デロニスルコトヲ憚ルヤウナ所業ニ出ル者モ少クゴザイマセタガ、尙ホ送金ノ少イ理由ヲ内地ノ方デ見聞シマスルト、飯場トカ或ハ酒保ノモノガ勞務者ニ品物ヲ賣付ケマス時ニ、彼等ノ思ハナイ金高ヲ帳面ニ付ケマシテ、之ヲ給料カラ差引ク、是ガ爲ニ金ガ手ニ入ラナイ、又事業主カラノ送金モ行カナイ、又事業主ノ送金ニ要スル手續ハ相當煩瑣デアリマシテ、是ガ爲ニ家庭ニ困カナイ、色々ナコトガ原因シマシテ、朝鮮全體ノ農村ノ純朴、オ上ニ對シマシテハ洵ニ從順ナ民衆モ、食糧ノ入手困難ト、ソレカラ勞務供出ノ後始末ガ宜シクナイ爲ニ、厭ナ空氣ガ朝鮮全部ヲ覆ハントシテ居ルノデアリマス、厚生省デハ最近朝鮮關係ノ團體モ管下ニ御作リニナリ、色々御世話ニナツテイヤツシヤイマスガ、兎モ角焦眉ノ急務トシテ相當ノ御處置ヲ御議ジニナル必要ガアルノデヤナイカト思フ、總督府トシテハ此ノ勞務者ノ家族

ノ爲ニ援護會モ御作リニナリ、補助金モ御出シニナツテ居リマスガ、何シロ是ハ誕生後日尙ホ淺ク十分ニ活動致シテ居リマセヌ、尙ホ補助金モ官憲ノ手ヲ經テ、總督府カラ道廳、道廳カラ郡廳、郡廳カラ面役場ヲ經ルコト云フ、其ノ間ガ中々時間ヲ要シマス、急場ニ間ニ合ハナイ様子モ見受ケル、各種ノ事情カラ朝鮮全島ハ相當暗澹トシテ居ルノデアリマスガ、時局柄厚生省トシテ御考ヘニナル點ガ相當アリハシナイカ、之ニ對シマシテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中村(敬)政府委員 半島人ノ移入ニ付キマシテ色々ノ具體的事實ヲ舉ゲテノ御質問デアリマスガ、送金等ニ付キマシテハ全ク御話ノヤウナ事情ガアルノデアリマス、昨年來段々移入半島人ノ數モ増加シ、殊ニ縱來内地ニ入ツテ參ツタ階層トハ稍、社會的ノ地位ノ變ツタ人モ殘々入ツテ參リツ、アルノデアリマシテ、其ノ管理ニ付テハ私共モ非常ニ心配シテ參ツテ居ルノデアリマス、ソコデ昨年から色々總督府トモ折衝ヲ重ネタノデアリマスガ、從前ハ御承知ノヤウニ事實上行政上ノ措置デ移入ヲシテ居ツタノデアリマスガ、ソレデハドウモ保護ガ徹底シナイト云フコトカラ、ドウシテモ是ハ正面カラ國民徵用令ヲ適用シテ、徵用ニ依ル場合ノ國家ノ援護ト云フモノヲ内地人ト同様ニシテ行クト云フコトヲシナケレバ援護ガ徹底シナイ、斯様ニ考ヘマシテ、昨年來御案内ノヤウニ思ヒ切ツテ朝鮮ニモ徵用ヲ實施致シマシタ、自然徵用ノ反面ニ於テソコニ色々ナ援護ヲ要スル事情ガアレバ、内地人ノ徵用ト全ク同様ニ援護ヲスルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ援護ニ付キマシテサ

ウ云フ建前ヲ執ル以上、其ノ援護ノ徹底ヲ圖ル爲ニ組織、機構ノ上ニ於テモ十分ノ工夫ヲ要スルト云フコトデ、内地ノ一般援護ニ當リマス徵用援護會、今日ハ勤勞動員援護會トナツテ居リマスガ、是ト並行的ニ朝鮮デモ援護會ヲ拵ヘテ戴キマシテ、兩者協力シマシテ只今御話ノヤウナ送金ノ事ナリ、其ノ他ノ援護ヲ十分ヤツテ行キタイト云フコトデ、只今ヤツテ居ル譯デアリマス、何分援護ニハ内地ノ援護デモ非常ニ時日ガ遅レルト云フヤウナコトモアリマス、況シテ出發勿々ノコトデアリマスルノデ、マダ半島人ノ援護ニ付テ色々ノ手落ちガアルト思ヒマスルガ、急速ニ是ハ改善ヲシテ行キタイト考ヘテ居リマス、此ノ援護會ノ仕事ガ伸ビレバ御懸念ノヤウナ事實ハ逐次ナクナツテ行ク、斯様ニ私共考ヘテ居リマス、尙ホ徵用以外ノ形式デ働イテ居ルモノニ付キマシテモ、今回國民動員令ノ案ヲ只今審議中デアリマスガ、是ガ出來マスレバ、在來ハ唯行政上ノ指導ヲヤツテ居リマシタ扶助ノ關係ガ、正式ニ法上ノ扶助ニナリ、ハツキリシテ根據ニ依ツテ扶助スルト云フコトニモ相成リマス、徵用援護ニ準ジタ工場ノ扶助ト云フコトモ行ハレルヤウニナリマシテ、全面的ニ援護ノ制度ガ完備スル譯デアリマス、斯様ニシテ段々援護扶助ノ關係ヲ徹底シテ參リタイ、尙ホ其ノ他ニ大事ナコトハ、何トシマシテ工場、事業場内ニ於ケル勞務ノ管理、此ノ管理ノ面カラ行フ半島人ナリ、延イテハ其ノ家族ノ面倒ヲ見ルト云フコトガ必要デアリマス、何分段々半島人ノ内地ニ來ル人が多クナル、又内地側ニ於キマシテモ、受入側デ相當此ノ方ノ扱ヒニ慣レテ居ル炭礦其ノ他ノ事業場デハ、管理ガ割合ニ宜

イノデアリマスケレドモ、新シク半島人ヲ受入レタト云フ所デハ、ドウモ巧ク行ツテ居リマセヌ、是等ノ點ニ付キマシテハ管理ヲ受持ツテ居ラレル軍需省トシ十分連繫ヲ取リマシテ、今後努力シテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ斯ウ云フ勞務者ト同時ニ内地ノ一般半島人ヲモ含メマシテ、御案内ノヤウニ厚生省デハ厚生會ヲ作リマシテ、色々手段ヲ講ジテ行ク方針ニ相成ツテ居リマス、是モ團體ガ出來マシテマダ今日十分ナ所マデハ行ツテ居リマセヌガ、是等色々ナ施策ニ依リマシテ段々從來問題トサレテ居ツタヤウナ點ハ解決シ得ルト考ヘテ居リマス、私共モ今後十分努力シテ行ク考ヘデゴザイマス

○古田委員 此ノ場合陸軍關係ノ質疑ヲ願ヒマス——牛塚君

○牛塚委員 國勢調査關係一寸御伺シテ置キタイト思ヒマスガ、初メニ一ツ法制局長官ニ伺ツテ置キマス、御說明ニ依リマス戰局ノ現狀カラ今度國勢調査ヲ御止メニナル御決心ヲナサツタヤウデアリマスガ、戰局ノ現狀ト云フノハ、何時ノ現狀ニ依ツテサウ云フ御決心ヲナサツタノデアルカ、ソレヲ一寸伺ツテ置キタイ

○三浦(一)政府委員 是ハ牛塚君サンハ能ク御承知ノ通り、全國一齊ニヤルト云フノガ、國勢調査ノ法規ノ建前ニナツテ居ル、ソコデ從前ノ例ニ依リマス十月一日ニヤツテ居リマシタガ、サスレバ昭和二十年ニ假ニ法規通りヤルトシマス、二十年十月一日、斯ウ云フコトニ豫定サレル譯デアリマスガ、只今ノ所日本ノ全版圖ニハ到底行ヘナイ、即チ朝鮮、臺灣、沖繩、北ハ北海道、樺太マデヤラナケレバナヌ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、此ノ事態デハ容

易デハナイ、ナゼ事態が容易デナイト申スカト云フト、大體約二十萬程度ノ人ヲ動員スルノデナケレバ、國勢調査ノ事務が進捗シナイ、又之ニ要シマスル物資モ相當大ナモノヲ使ヒマス、其ノ他輸送面ニモ負擔が掛ツテ來ル、サウ云フヤウナコトデゴザイマスルノデ、唯單ニ日本ノ局部的ニ見マシテ、沖繩ガ非常ニ空襲ガ酷イトカ、或ハ臺灣ガ酷イトカ、サウ云フ個々ノ事象ヲ捉ヘテ結論シタ譯デハナクテ、全般カラ見マシテ此ノ際取止メニスル方ガ適當デヤナイカ、斯ウ判斷シテ居ル譯デアリマスカラ、此ノ點御含ミヲ願ヒタイト思ヒマス

○牛塚委員 事情ハ能ク分ツテ居リマスガ、サウ云フ御決心ヲナサツタノハ何時頃ノコトカト云フノデス、モット具體的ニ申シマス、法律ヲ施行スル全責任ヲ持ツテ居ル當局ハ豫算ヲ要求ナサツタカ、其ノ時ニ既ニ今日ノ戰局ノ現狀カラヤルノハ不適當デト御考ヘニナツテ、豫算ヲ要求ヲモナサツタナツタカ、又其ノ以前カラドウモ此ノ様子デハ全國一齋ニヤレサウモナイカラヤラヌト云フノカ、御説明ノ戰局ノ現狀カラサウ判斷サレタト仰シヤルケレドモ、戰局ノ現狀カラサウ判斷サレタノハ何時頃ノコトカト云フコトヲ御尋ネシテ居ル

○川島政府委員 今御尋ネガゴザイマシタガ、統計事務當局ト致シマシテハ、大體豫算編成ノ時期ニ事情ヲ判定シマシテ、到底昭和二十年ノ國勢調査ハ出來ナイト云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス、ソレハ主トシテ昨年ノ二月ニ人口調査ヲ致シマシタ、是ハ國勢調査ノ法律ニ依リマセヌ、即チ内地ダケ行ツタノデアリマスガ、其ノ時ノ經驗ヲ基

ニ致シマシテ、尙ホ其ノ後ニ起リマシタ戰局ノ進展ノ上合トカ、ソレカラ色々ナ調査ヲ致シマス上ノ國內ノ諸事情ノ逼迫シテ居ル上合トカ、ソレ等ヲ考ヘ合ハセマシテ、全國一齋ニ致シマシテモ其ノ目的ヲ達セラレナイ、斯ウ云フ判斷ヲ致シタ譯デアリマス

○牛塚委員 陸軍ノ政府委員ニ一ツ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス、曾テ明治以來ノ多年ノ懸案ヲ解決シヨウト云ツテ、第一回ノ國勢調査ガ行ハレルト云フ際ニ、陸軍特ニ當時ノ參謀本部ニ於カレマシテハ、軍ノ諸般ノ計畫、殊ニ國民總動員トカ、根コソギ動員トカ云フヤウナ問題ニ關シテ、國勢調査ノ必要ナルコトヲ何處ヨリモ痛切ニ感ゼラレマシテ、是ハ一ツ俺ノ方カラ願ツテヤツテ貰ハナケレバナラヌ問題デアルカラ、是非政府ニ於テモ決意ヲスルヤウニト云フヤウナコトデ、非常ナ助力支援ガアリマシテ、ソレガ遂ニ實現サレタト承知致シテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ國勢調査統計ノ最モ大切ナル基本ニナルモノニ對スル一番ノ怪物ハ、目前ノ安價ノ間ニ合ハセノ便宜論ナンデス、目前安價ノ便宜論ガ一番統計ヲ毒シテ來テ居ルノデアリマスガ故ニ、國勢調査ニ關スル問題ニ付テ申シマス、此ノ第一聲ヲ擧ゲタモノハ明治政府ノ先覺者デアリ、指導者デアツタ伊藤、大隈兩參議ノ建白書ニ基イテ居ル、併シナガラ此ノ建白書ガ中々實行ガ出來ナイ、何故カト申シマス

ト、今申シマシタ目前ノ安價ノ便宜論カラ中々實行ガ出來ナカツタ、然ルニ段々世ノ中ガ進ンデ參リマスルト、サウドウモ目前ノコトバカリ言ツテ居ツテハ困ル、計畫ニ齟齬ガアツテハ困ルト云フノデ、私共ノ承知シテ居ル所ニ依

リマスルト、貴族院ノ例ヘバ當時ノ平田東助トカ、阪谷芳郎トカ或ハ仁尾惟茂トカ、ソレカラ衆議院デハ例ヘバ粕谷義三、八木逸郎トカ云フヤウナ人達ガ大變ニ熱心ニ、基本ノ調査計數ヲ持タナケレバ國家ノ施設ト云フモノハ、餘リニ杜撰ニ流レヤシナイカト云フヤウナ所ヲ非常ニ心配サレテ、遂ニ國勢調査ニ關スル法律ハ珍シク日本デハ議員提出案トシテ出テ來タ、議員提出案デ出タ法律案ガ、遂ニ貴族院ヲ通過シテ御裁可ニナツテ、本當ノ法律ニナツタ、是ハ日本デハ第一ノ先例ナノデス、議員提出案デ法律ニナツテ居ルモノハ私ハ知リマセヌガ、其ノ後モナイノデハナイカ、其ノ位衆議院ノ議員ハ識見ヲ國家ノ爲ニ示シタ、所ガソレガ法律ガ出來タケレドモ、ソレガ實行出來ナイハ何故カト云フト、今申シマスル通り安價ノ便宜論ノ爲メデアツタ、其ノ結果何時マデ經ツテ見テモ日本デハ本當ノ日本ノ民族ノ人口、ドウ云フ風ナ構成ニナツテ日本ノ民族ハ發展スルノダカ、衰亡スルノダカマルデ分ラヌ狀態ニナツテシマツタ、至極簡單ナ人口ノ總數スラ分ラナイ、ソコデ其ノ爲ノ役所ハ政府ニアル、政府デハドンナコトヲシテ居ルカト云フト、人口ヲ作ツテ居ル、戶籍簿デ出寄留、入寄留ヲ差引シテ、サウシテ日本ノ人口ハ先ヅ大體此ノ位ダラウト云ツテ居ル、所ガソレヲ警察ノ戶口調査デ現物ヲ調べタト云フモノト照シ合ハセテ見ル、又非常ナ相違ガアル、ソレダカラ日本ノ人口ハ殖エルノデアルカ、減ルノデアルカ、ドンナ勢デ増加シテ行クノヤラ、ドンナ勢デ減少シテ行クノヤラ、結婚ノ率ガドウナツテ居ル、死亡ノ率ハドウナツテ居ルト云フヤウナ點ハマル

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

○大島政府委員 先程書記官カラ御話申上ゲマシタ通り、現戰局ノ關係上ト云フ御言葉ガアリマシタ如ク、現在ハ御承知ノヤウナ戰況狀態ニナツテ居リマスノデ、總テ現段階ノ機微ナル事柄ガ關聯ヲ致シマスノデ、私ト致シマシテ茲ニ的確ナル御答辯ハ致シ兼ねル次第デゴザイマス

○三浦(一)政府委員 其ノ點ハ私カラ補足シテ申上ゲマス、此ノ國勢調査ヲ昭和二十年ニ於テ施行セザルコトニ付キマシテハ、關係當局トモ實ハ隔意ナキ協議ヲシマシテ、陸軍ノ御當局ノ御意圖ハ私ノ方デ付度申上ゲルコトハ出來ナイ譯デアリマスルガ、先程私ノ説明申上ゲマシタ事情ヲ諒トセラレ、陸軍當局ニ於キマシテモ事情ヲ御諒承セラレマシテ、サウシテ本案ヲ提出スルト云フ段取ニナリマシタコトヲ御諒

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

○大島政府委員 先程書記官カラ御話申上ゲマシタ通り、現戰局ノ關係上ト云フ御言葉ガアリマシタ如ク、現在ハ御承知ノヤウナ戰況狀態ニナツテ居リマスノデ、總テ現段階ノ機微ナル事柄ガ關聯ヲ致シマスノデ、私ト致シマシテ茲ニ的確ナル御答辯ハ致シ兼ねル次第デゴザイマス

○三浦(一)政府委員 其ノ點ハ私カラ補足シテ申上ゲマス、此ノ國勢調査ヲ昭和二十年ニ於テ施行セザルコトニ付キマシテハ、關係當局トモ實ハ隔意ナキ協議ヲシマシテ、陸軍ノ御當局ノ御意圖ハ私ノ方デ付度申上ゲルコトハ出來ナイ譯デアリマスルガ、先程私ノ説明申上ゲマシタ事情ヲ諒トセラレ、陸軍當局ニ於キマシテモ事情ヲ御諒承セラレマシテ、サウシテ本案ヲ提出スルト云フ段取ニナリマシタコトヲ御諒

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

○大島政府委員 先程書記官カラ御話申上ゲマシタ通り、現戰局ノ關係上ト云フ御言葉ガアリマシタ如ク、現在ハ御承知ノヤウナ戰況狀態ニナツテ居リマスノデ、總テ現段階ノ機微ナル事柄ガ關聯ヲ致シマスノデ、私ト致シマシテ茲ニ的確ナル御答辯ハ致シ兼ねル次第デゴザイマス

○三浦(一)政府委員 其ノ點ハ私カラ補足シテ申上ゲマス、此ノ國勢調査ヲ昭和二十年ニ於テ施行セザルコトニ付キマシテハ、關係當局トモ實ハ隔意ナキ協議ヲシマシテ、陸軍ノ御當局ノ御意圖ハ私ノ方デ付度申上ゲルコトハ出來ナイ譯デアリマスルガ、先程私ノ説明申上ゲマシタ事情ヲ諒トセラレ、陸軍當局ニ於キマシテモ事情ヲ御諒承セラレマシテ、サウシテ本案ヲ提出スルト云フ段取ニナリマシタコトヲ御諒

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

○大島政府委員 先程書記官カラ御話申上ゲマシタ通り、現戰局ノ關係上ト云フ御言葉ガアリマシタ如ク、現在ハ御承知ノヤウナ戰況狀態ニナツテ居リマスノデ、總テ現段階ノ機微ナル事柄ガ關聯ヲ致シマスノデ、私ト致シマシテ茲ニ的確ナル御答辯ハ致シ兼ねル次第デゴザイマス

○三浦(一)政府委員 其ノ點ハ私カラ補足シテ申上ゲマス、此ノ國勢調査ヲ昭和二十年ニ於テ施行セザルコトニ付キマシテハ、關係當局トモ實ハ隔意ナキ協議ヲシマシテ、陸軍ノ御當局ノ御意圖ハ私ノ方デ付度申上ゲルコトハ出來ナイ譯デアリマスルガ、先程私ノ説明申上ゲマシタ事情ヲ諒トセラレ、陸軍當局ニ於キマシテモ事情ヲ御諒承セラレマシテ、サウシテ本案ヲ提出スルト云フ段取ニナリマシタコトヲ御諒

○大島政府委員 國勢調査ニ關シマシテハ關係當局、陸軍、海軍ノ當局トハ密接ナル御協力ヲシテ居ル管デゴザイマスガ、私政務次官トシテ只今御回答致スニ付キマシテハ、是ハ御承知ト存ジマスガ、政務次官ハ軍機ニ干與セズト云フ内規ニナツテ居リマスノデ、現況ニ於キマシテハ、事總テ軍機軍令ニ關スルコトガ多イノデアリマシテ、私トシテハ此處デ責任アル御言明ヲ憚リマスカラ、ドウカ御諒承ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○牛塚委員 只今御答辯ヲ戴キマシタガ、私ハ軍機軍令ニ關スルコトヲ御尋ネスルノデハアリマセヌ、國勢調査ガ實施サレタ時分ニ、當時ノ陸軍デハ斯樣ナ御考ヘデアツタト云フノデス、ソレヲ冗漫ヲモ顧ミズ申上ゲタ譯デアリマス、而シテ今日ノ陸軍當局ハ、此ノ國勢調査ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテオイデニナルカト云フコトデアリマス

承載キマス

○牛塚委員 段々ノ御答辯デアリマス
ガ、私ノ間ヒ方モマダ少シ惡イ所ガ
アルカモ知レマセヌ、私ガ陸軍當局、
殊ニ政府委員トシテ此處ニオイデニナ
ツテ居ル方ニ御尋ネシテ居リマスノ
ハ、中止ニ付テノ意見ヲ聽イテ居ルノ
デハナイノデアリマス、抑、第一回ノ
多年ノ懸案ヲ解決シタ當時ノ陸軍當局
ノ御考ヘハ、陸軍ノ各種ノ計畫、總動
員、今日ノ言葉デ申セバ根コソギ動
員、斯ウ云フモノニ關スル限リ、國勢
調査ト云フモノハ非常ニ必要デアルト
云フコトデアツタ、今日ノ陸軍當局ハ
國勢調査ニ付テハドウ云フ御考ヘヲ持
ツテオイデニナリマスカ、私ハ何モ今
ハ中止ノ問題ヲ蒸返シテ居ルノデハア
リマセヌ、サウ云フ意味デ問フタノデ
アリマスガ、御答辯ハ速記者ガ取ラレ
タヤウナ答辯デアリマスカラ、ソレ以
上私ハ追及ハ致シマセヌ、ソレカラモ
ウ一ツ陸軍ノ政府委員ニ御尋ネシテ置
キタイト思ヒマスノハ、丁度前ノ歐洲
大戰ノ途中デアツタト思ヒマス、アメ
リカ「デハモウ何十回ト申シマスカ、
何百年來國勢調査ヲ行ツテ居ル國デア
リマシタガ、歐洲ニ出兵スル關係カラ
更ニ動員ノ必要上、國民登録法ヲ急ニ
拵ヘテ、國人ニ對スル各種ノ事項ヲ調
査シタ、其ノ内容ヲ見マス、是ハ殆ド
臨時國勢調査ト云フベキモノデアル、
年齡ヲ調べ、職業ヲ調べ、職業上
ノ地位ヲ調べ、其ノ時分ニ所謂國民
總動員ト云フコトヲ考ヘテ見ルト、國
勢調査法ニ規定スル十年ニ一度ノ調査
デハ、又「アメリカ」ノヤウニ急ニ「ナ
シヨナル・レジストレーション・アタ
クト」ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、臨時
國勢調査ト云フヤウナモノヲヤラナケ

レバナラヌコトニナルカラ、ソレヨリ
モ知ラン顔ヲシテ、平然トシテ是ハ國
勢調査デゴザイマスト云ツテ調査シタ
モノガ軍ノ御役ニ立ツト云フコトデア
レバ、非常ニ都合ガ好イト云フコト
デ、ソレデ十年毎ニ一回帝國ノ全版圖
ニ互ツテ行フ調査ノ中間ニ、五年毎ニ
簡易ナ國勢調査ヲヤラウト云フコトガ
決定サレタ、是ハ何ノ爲カト云フト、
當時ノ狀況カラ申シマス、歐洲大戰
ノ教訓ト、「アメリカ」ノ實例ト、サウ
シテ日本ノ軍當局ノ國勢調査ニ對スル
重要性ノ認識ノ程度、是等ガ相合シテ
十年ノ中間ニ更ニ五年ノ調査ヲ實行ス
ルト云フコトニ相成リマシテ、遂ニ法
律ノ改正トナツテ、爾來十年ノ大キナ
調査ノ中間ニ、簡易ナ國勢調査ヲ挟ム
コトニ相成ツタ、當時ノ陸軍ハ臨時ノ
簡易ナ國勢調査ニ對シテ左様ナ御考ヘ
ヲ持ツテオイデニナツタノデアリマス
ガ、今日ノ陸軍當局ハ如何ナル御考ヘ
ヲ持ツテオイデニナルカ、私ハ何モ中
止ノ問題ヲ言フノデハアリマセヌ
○大島政府委員 御質問ノ要旨ハ分リ
マシタ、私ハ政務次官トシテ御答ヘヲ
申上ゲマス、現下ノ諸種ノ情勢ヲ勘案
シマス、仰シヤル如キ國勢調査ハ今
強ヒテヤル必要ナキモノト判斷サレマ
ス
○牛塚委員 最後ニ一ツ主管ノ局長タ
ル政府委員ニ御尋ネシテ置キタイト思
ヒマスガ、情勢ヨリ判斷セラレマシテ
中止セラレルト云フコトハ、是ハ今日
議論ヲスル必要ハナイト思ヒマス、併
シ何ト云ツテモ日本ノ國家ノ將來、民
族ノ將來ヲ考ヘルト、民族ノ盛衰消長ヲ
測ル正確ナル基準ガナクテハナラヌ、
正確ナル尺度ヲ持タナケレバナラヌ、
正確ナル尺度ヲ持タズニ色々ナコトヲ論

議スルト云フノハ、丁度「ゴム・テープ」
ヲ物差トシテ考ヘルヤウナモノデ、私
ハ悉ク當ラヌト思フ、非常ナ場合ニ非
常ナ措置トシテ、法律ニ規定スル調査
ヲ御止メニナルコトモ已ムヲ得ヌト思
フノデアリマスガ、外國ノ事例ニ於
テ、既ニ前ノ大戰又今日ノ大戰ニ際シ
テ、世界ノ主要ナ國ハドウ云フ態度ヲ
執ツテ居リマスカ、ソレヲ一ツ伺ツテ
置キタイト思ヒマス
○川島政府委員 今御尋ネガゴザイマ
シタノデ、知ツテ居ル限リヲ申上ゲマ
ス、御手許ノ參考資料ニモ書上ゲテ置
キマシタヤウニ、此ノ前ノ歐洲戰爭デ
ハ丁度國勢調査ニ該當シマスル國ガ三
ツゴザイマシタ、「ドイツ」ト「フラン
ス」ト「イタリヤ」デアリマス、是ガ歐
洲大戰中ニ國勢調査ヲ施行スル年ニ當
リテ居リマシテ、他ノ國ハ丁度外レテ
居ツタノデ問題ハアリマセヌデシタ
ガ、此ノ三ツノ國デハ何レモ國勢調査
ヲ中止致シテ居リマス、是ハ實際ノ國
勢調査ノ事務ニ當リマスル者カラ見マ
シテ、非常ナ複雑ナ問題デゴザイマシ
テ一口ニハ申上ゲラレマセヌガ、非常
ニ調査ガ困難デ、其ノ結果出來マシタ
數字ガ、色々ナ國家ノ計畫ノ基礎材料
トシテ計算ノ基ニシマスルニハ不確カ
ナ點ガ出テ來ルコト多クイデアリマ
ス、隨テ已ムヲ得ズ中止シタヤウナ次
第デアリマス、所ガ實際ニ於キマシテ
ハ戰爭ノ最中コソ最モ國民ノ狀態ニ關
スル資料ガ、殊ニ數量的ノ資料ガ必要
デアリマスノデ、是ハ貴族院ノ委員會
ニ於キマシテモ御議論ガアリマシタ
ガ、斯ウ云フ際コソ國勢調査ヲシテ十
分ナ材料ヲ取ルベキデヤナイカト云フ
コトデゴザイマシタ、全ク其ノ通り
デ、現在ノヤウナ場合ニ於キマシテハ

普通ヨリモ尙ホ一層國民ノ狀況ガ判明
致スコトガ必要デアル、併シソレヲ國
勢調査ノ行キ方デヤルコトハ到底所期
ノ結果ヲ得ラレナイコトガ分リマシタ
モノデスカラ、現在ニ於キマシテハ統
計ノ進シタ國ニ於キマシテハ國勢調査
ヲ致シマセヌデ、而モ國勢調査ヲ致シ
タト同ジヤウナ結果ヲ收メテ居リマ
ス、其ノ中デ最モ進シタノハ「ソヴィ
エト」聯邦、其次ガ「ドイツ」ノヤウ
ニ考ヘラレマス、此ノ國デハ、少シ專
門的ニ互リマスガ、靜態調査ト動態調
査、及ビ人口統計其ノ他ノ統計、是等
ヲ總テ統計的ニ見マシテ、一ツノ組織
體ニ組立テテシマツテ居リマス、其ノ
國ノ各種ノ統計ヲ一ツノ組織アル單一
體系ニ組立テテ、其ノ計算ニ依ツテ現
在ノ狀況ガ分ル、斯ウ云フヤリ方ヲ致
シテ居リマス、一例ヲ申上ゲマス、
例ヘバ昭和十五年ニ我が國デ國勢調査
ヲ致シマシタガ、其ノ國勢調査デ國民
ノ年齡別或ハ産業別、或ハ配偶關係、
兵役關係、斯ウ云フヤウナコトガ分ツ
テ居リマス爲ニ、ソレヲ基ニ致シマシ
テ兵役ノ關係、或ハ職業ノ轉換ノ狀
況、或ハ甲ノ土地カラ乙ノ土地ニ移リ
マスル地域的ノ移動、或ハ出生死亡ト
云フヤウナ統計ガ、皆國勢調査ノ數
量ト差引ガ出來ルヤウニ組織ヲ立テ
マシテ、サウシテ何レノ部門ニ於キ
マシテモ其ノ時々刻々ノ變動狀況ヲ
間達ハズニ計算ヲシテ記錄シ殘ス、
ソレト睨ミ合シテ計算ヲシマスレバ、
昭和十五年ノ國勢調査ヲ基ニシマシ
テ現在ノ昭和二十年ノ人口ナリ、或
ハ年齡何歳ノ者カ幾人居ル、其ノ職
業ハドウナツテ居ル、或ハ配偶關係ハ
ドウカ、或ハ兵役關係デ應召シテ居ル
カ、或ハ在郷ニ居ルカ、或ハ兵役關係

ヲモウ逃レテ居ルカ、斯ウ云フヤウナ
狀況ガハツキリ分ルヤウナ仕組ヲ致シ
テ居リマス、「ソ」聯邦「ドイツ」トデハ
多少狀況モ違ヒマスガ、大體サウ云フ
新シイ行キ方ヲ致シマシテ國勢調査ニ
代ル材料ヲ取ツテ居リマスノデ、現在
ニ於キマシテハ、「ソ」聯邦國勢調査ヲ
致シマシタノガ一九三九年、丁度戰爭
ノ前ノ年ノ昭和十四年ニ當ル年デアリ
マス、又「ドイツ」ニ於キマシテモ丁度
一九三九年、戰爭ノ直前ニ國勢調査ヲ
致シマシテ、其ノ後國勢調査ヲセズニ
現在同國ノ國民ノ狀況ガハツキリ分ル
ヤウニナツテ居リマス、以上申上ゲテ
置キマス
○牛塚委員 只今局長ノ御話ガアリ、
貴族院デモ意見ガ出タト云フコトデア
リマシタガ、今回ノ戰爭ハ全ク我ガ民
族、人口ト云フモノニ異常ナル變化ヲ
與ヘテ居リマシテ、此ノ變化ハ全ク開
闢以來ノ變化デアルト思ヒマス、隨テ
戰後經營トシテ各種ノ施策ヲナサナケ
レバナラヌ時分ニ、此ノ變化ヲ受ケタ
日本ノ民族、人口ノ現狀ヲ正確ニ知ツ
テ置クト云フコトハ一番大切ナコトデ
アルト思ヒマス、戰時混亂ノ途中ニ大
規模ノ調査トカ、正確ナ調査ハ是ハ注
文ヲスルコトガ無理デアラウト思フノ
デアリマスガ、責任アル主管ノ當局ニ
於カレマシテハ、戰爭ガ濟ンダラ直チ
ニ戰後經營ノ諸般ノ計畫ノ基準ニナ
リ、又指針ニナルベキ正確ナル調査ヲ
ナス決心ナリ覺悟ナリヲ持ツテ居ラレ
ルカドウカ、一ツ明瞭ニ承ツテ置キタ
イト思ヒマス
○川島政府委員 主管當局ト致シマン
テ御答ヘヲ申上ゲマス、御尋ネノ點ハ
私共ノ方デサウ云フ調査ヲヤリタイト
云フ決心ヲ持ツテ居リマス、併シナガ

ラ今御話申上ゲマシタヤウナ關係モアリマスノデ、國勢調査ヲ施行スル方面ノ準備ト同時ニ、モウ一ツ根本的ナ日本ノ統計組織全般ニ互ル一大改善ト申シマスカ、刷新ト申シマスカ、ソレヲヤラナケレバ諸外國殊ニ強國ト對抗シテ行コトガ出来ナイノデ、其ノ方面ニモ努力シタイト考ヘテ居リマス

○山崎(常)委員 陸軍關係ノ御尋ネヲ致シマス前ニ、今牛塚サンガ御尋ネニナツテ居リマス、國勢調査ノ問題ニ付テ一寸御伺ヒシタイト思ヒマス、先程カラ御尋ネニナツテ居リマシタ、國勢調査ノ廢止ノ問題デアリマスガ、私共モ國民ノ一人トシテ國勢調査ガ現在ノ戰爭ノ爲ニ一時中止ヲナサレルト云フアノ案ヲ見タ時ニ奇異ナ感ヲ致シマシタ、言ヒ換ヘレバ心配ナ感ヲ致シマシタ、更ニ本日牛塚委員ノ御質問ニ對スル當局ノ答辯ヲ聽イテ居リマス

ト、益々不安ニナツテ來ザルヲ得ナカツタノデアリマス、併シナガラ今統計局長カラノ御話ヲ承ツテ稍、肯ケマシタ、何ト致シマシテモ牛塚委員ノ御質問ノ如クニ、國ノ隆盛ノ如何ト云フコトヲ知ル指針ハ國勢調査ニアルト思ヒマス、國ノ總テノ方針ガソコカラ出發ヲシナケレバナラス、ソレガ中止ヲセラレバ、何故カ、是ハ心アルモノデアリマスレバ誰シモ考ヘルコトデアラウト思ヒマス、ソレガ廢止セラレルナラバ、之ニ代ルベク斯ウ云フモノガ出來ルト云フコトヲ明確ニ御示シ下サレバ、廻リクドイ質問モ、廻リクドイ御答辯モ要ラナイ譯デアリマス、是ハ舉足取りノヤウナ形ニナリマスノデ措キマスガ、ソコデ大體統計局長カラノ御話ニ依リマス、戰時下色々ノ事情ガアルノデ、ソレニ代ルベキ統計ノ方法

ガ講ゼラレ、ソレガ活用セラレルノダト云フコトデ安心シマシタガ、政務次官ノ御答辯ハ、今ノ所私ノ考ヘデハサウ云フヤウナ國勢調査ト云フモノハ必要ガナイト言ハレル、三浦法制局長官ハ、人多ク勢使ハレルノダ、物ガ要ルノダ、謂ハバ胡亂化シノヤウナ御答辯デアル、是デハ議員ガ満足出來ナイコトニナツテ來マス、ソコデ此ノ際御聽キシテ置キタイト思ヒマスノハ、昨年モ何カノ委員會會デ御尋ネシマシタガ、私ガ國ノ人口ノ趨勢ハ、戰ツテ居ル今日世界各交戰國ト比較致シマシテドウ云フヤウナ狀態ニ進ミツ、アルカ、此ノ點ヲ一ツ御聽キシタイト思ツテ居リマス

○三浦(一)政府委員 山崎サンノ御尋ネデスガ、政府側ノ意圖ガハツキリシナイ點ガアルヤニ承リマスカラ、私カラモ一度改メテ申上ゲマス、國勢調査ハ先程申上ゲマシタヤウニ、全版圖ニ互ツテ一齊ニヤラナケレバナラス所ノ特質ガアル、デスカラ之ヲヤラナケレバナラヌト云フ御説、是ハ洵ニ御尤モデアリマス、併シナガラ又全版圖ニ互ツテ一齊ニヤラナケレバナラヌト云フ内容ニ於キマシテハ、其ノ實施上ニ非常ナ犧牲ヲ拂ハナケレバナラス、即チ非常ナ施策ヲシナケレバナラス、ソレガ詰リ戰時中ニ於キマシテハ容易デヤナイ、同時ニ技術的ニ見マシテモ適當ナ成果ヲ期待シ難イカラト云フノガ先程統計局長御説明申上ゲタ通りデアリマス、且又他ニ及ボス影響ニ付キマシテハ私ガ申上ゲタ通りデアリマス、併シナガラ先程、牛塚サンヨリ御指摘ノアリマシタヤウニ、之ニ代ルベキ有效適切ナ手ヲ打ツテ居ラヌカト云フト、決シテサウデハナイ、現ニ昨十九年ノ二

月ニ施行シマシタ人口調査ハ、時局ノ要請ニ依リマシテ、國勢調査ニ依ラザル他ノ適切ナ方法ニ依ツテ調査ヲ致シマシタコトハ、山崎サン御承知ノ通りデアリマス、デスカラ時局上必要ナ適切ナ方法ハ講ジマス、同時ニ又進展スル國勢ヲ反映サセルト云フ手段ハ今申上ゲマスヤウナ段々ノ措置ニ依ツテ執ツテ參ルト云フ、強イ決意アリマスコトハ、此ノ際私ヨリハツキリ申上ゲテ置キタイト存ジマス、且又統計局長ガ申上ゲマシタノハ、既ニ國勢調査ト云フ面ダケデハ、今日ノ國勢ヲ把握スルハ、國ノ情勢ヲ判斷スル材料ヲ把握スルニハ足ラナイ、モト一步飛躍シタ立派ナ手ヲ打タナケレバナラス、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、此ノ方面ニモ施策ヲ進メテ參リタイト存ジマス、ソコデ山崎サントシマシテハ、ソレヲ一體出スノガ本當デヤナイカト云フ御趣旨カモ存ジメセヌガ、是等ニ付キマシテハマダ十分ニ御提案申上ゲル程度ニハ達シテ居リマセヌカラ、今後ノ問題トシテ今研究ヲ附シテ參リタイト思ヒマス

尙ホ人口ノ各國ノ事例等ニ付キマシテハ、局長ノ方カラ説明ヲ願フナリ、或ハ資料トシテ差上ゲルナリ致シタイト考ヘマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス

見マス、非常ニ心強イ感ヲ致シマス、ソレハ「ヨーロッパ」各國ニ於キマシテハ、是ハ此ノ前ノ歐洲大戰ニ於キマシテモ、又其ノ前ノ普佛戰爭トカ、普墺戰爭トカ云フ大キナ戰役ニ於キマシテモ、戰時中ハ非常ニ出生ガ減リマシテ死亡ガ増加スル譯デアリマス、所ガ我が國ハ今回ノ戰爭ガ始マリマシテカラ、其ノ點ニ於キマシテ少シモ心配ガ要ラナイ、外國ト比ベマス、是ハ公ニナラヌ程心丈夫ナ狀況デゴザイマス、ソレヲ一寸申上ゲマスガ、是ハ公ニシテ居リマセヌノデ、此處ダケノ話ニシテ戴キタイト思ヒマス

○古田委員長 只今政府ヨリ速記ノ中止ヲ求メラレマシタガ、速記ハ此ノ儘繼續致シマシテ、其ノ部分ハ密封シテ保存スルコトニ致シマス

○山崎(常)委員 只今統計局長カラ我が國ノ人口ノ趨勢ニ付キマシテ統計上ノ數字ヲ御話願ヒマシテ、非常ニ心強ク感ジタ次第デアリマス、國民全般モ非常ニ心強ク感ジラウト思ヒマス、次ニ私ハ陸軍當局ニ御尋ネシタイト思ヒマスガ、ソレハ戰爭ニ入りマシテ今日交戰各國トモ女子ガ相當ニ軍ニ配置セラレマシテ、其ノ國々ノ爲ニ働イテ居ルト云フコトヲ屢々聞イテ居リマスシ、最近本土ヲ頻繁ニ攻メテ來ル「ビー」二十九ニモ、二三人ノ「アメリカ」ノ女子ガ乘ツテ來ルト云フヤウナコトモ聞キマス、交戰各國ガサウ云フ工合ニ女子ヲ國內ノ軍隊或ハ第一線デ働カシテ居ル實情ハドウ云フ理由ニ基クカ、何處ト何處ノ國ガサウ云フ工合ニ女子ヲ軍隊ニ動員シテ使ツテ居ルカト云フヤウナ點ヲ御示シガ願ヒタイト思ヒマス

○大島政府委員 御答ヘ申上ゲマス、各國ハ人的資源ニ行詰リマシタ關係上、斯ウ云フ情勢ヲ現ハシタモノト思ヒマス、我が國ハ幸ニシテ現在ニ於テ女子ヲ徵用シナケレバト云フヤウナ情勢モゴザイマセヌガ、將來ニ於テハサウ云フ情勢ガ順次來ルカモ知レマセヌ

○山崎(常)委員 御尋ネシタ點ガ明瞭デナイト思ヒマスガ、何處ト何處トノ國ガ今女子ヲ動員シテ居ルカト云フコトハ、軍ノ御當局デハ御調査ニナツテ居ラナケレバナラヌト思ヒマス、御分リニナツテ居レバ聽キタイト思ヒマス

○大島政府委員 日本國ヲ除ク外ハ殆ド全部女子ヲ軍ノ一部ニ參加サシテ居ルト思ヒマス、是ダケ御答辯致シマス

○山崎(常)委員 先程ノ御答ヘデハ、各國ハ其ノ國々ノ兵員ニ憐レデ女子ヲ徵用シテ居ルノダ、斯ウ云フ御答ヘデゴザイマスガ、或ハサウカモ分リマセヌ、又私共素人デアリマススケレドモ考ヘル場合ニ、男子デナクドモ女デ間ニ合フ場所ニ使ツテ居ルカモ分ラナイ、又女デアルガ爲ニ特ニ間ニ合フ所ニ使ツテ居ルカモ分ラナイ、サウ云フ點ハモウ既ニ軍ノ當局デハ御調査ガ出來テ居ルノダラウト私ハ考ヘマス、ソコデ我が國ニ於キマシテモ、私ハ今ノ政務次官ノ御答ヘデハ満足出來マセヌガ、應召人員ニ困ツテ居ルカラ使ツテ居ルト云フコトノミデハナイト思フ、戰爭ガ何年續クカ分ラナイ、何百年續クカ分ラナイ、更ニ永遠ノ戰爭ニナルカモ分ラナイト云フ現狀ナデシテ、豫メテ我が國ハ人ガ餘ツテ居ルカラ女子ヲ使ハナイト云フヤウナ考ヘハ最早遲イノデアリマス、女デ間ニ合フ所ハ女子ヲ使フ大イニ女トシテノ働キモ發揮サセネバイケナイ今日デハナイカト思ヒ

マス、何時マデモ男ハアリ餘ツテ居リハシマセヌ、サウ云フヤウナ物ノ考ヘ方ガ私ハ敗戦ニナル原因デナイカト考ヘマス、モウ日本ノ今日デハ既ニ女ガ何時デモ立派ニオ役ニ立ツノダト云フ所ノ訓練ガナサレバナラナイ今日デハナイカ、御分リニナラヌカモ知ラヌケレドモ、女モソレヲ望ンデ居リマス、國ニ殉ズルト云フ氣構ヘハ男、バカリデハアリマセヌ、私ハ我が國ノ女ニモ立派ニ御國ノ一線ニ立ツテオ役ニ立ツヤウナ方途ヲ考ヘテヤルベキダ、途ヲ拓ケテヤルベキデハナイカト云フコトヲ痛切ニ此ノ頃考ヘマス、既ニ最早各所ノ工場ニ働キニ出テ居リマス、女ハマダアレ以上ノ働キヲシタイト切望シテ居リマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、私はハ責任アル陸軍大臣ニ御聽キシタイト思ヒマス、ケレドモ貴族院ノ豫算委員會デオイテ願ヘナイト仰シヤイマスノデ、政務次官デアレバ責任アル御答ヘガ出來ルダラウ、斯様ニ考ヘマシテ御尋ネテヤウナ次第デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ責任アル御答ヘヲ一應承リタイ、斯様ニ考ヘマス

○大島政府委員 御答ヘ申上デマス、我が國ノ女子必ズシモ軍務ニ堪ヘナイト云フコトハナイノデアリマス、無論徵用スレバ立派ニ軍務ノ一部ヲ負擔スルコトハ出來ルト確信ヲ致シマス、唯只今ノ御意見ハ謹シテ拜聴致シテ置キマス

○山崎委員 今御尋ネノ點ハ、尙ホ陸軍大臣ニモ能ク御話下サイマシテ時機ガゴザイマシタラ、重ネテ又御意見ヲ承リタイ、此ノ事ヲ御願ヒシテ置キマス

次ニ、厚生省ノ方面ニ御尋ネスルノデゴザイマスガ、厚生大臣ニ御聽キン

タイノハ、簡單ナ問題デゴザイマシテ、是ハ明日カ或ハ明後日デモオ目ニ掛ツタ時ニ御尋ネスルコトニ致シマス、今承レバ御出席下サツテ居ルノハ勤務局長ダト承リマシタノデ、勤務方面ニ對スル問題ヲ二、三御尋ネシタイト思ヒマス、私共ガ各軍需工場ヲ視察致シマス場合ニ、色々ノ施設ヲ見セラレ、又聞カサレマス、併シ聞カサレ見セラレ致シマスケレドモ、其ノ工場々々ヲ廻リマス時ニ、何處ノ工場ト雖モ空襲ヲ待避スル完全ナ壕ガアリマセヌ、此ノ頃ハボツ／＼出來テ居ルト云フコトモ聞キマスケレドモ、ソレモボツ／＼デアツテ、マア申譯ノモノモ多分ニアルト云フヤウナ感じガ致シマス、事實サウデアアル、ソレカラ左様ナ空襲ノ災害或ハ工場内ニ於キマシテノ負傷、病氣ト云フヤウナ場合ニ至リマシテモ、ソレヲ完全ニ保護スル途ガ開カレテ居ラナイ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ、最近ノ實情ハ、厚生省ハ空襲下ニアル工場ニ對シマスル對策ヲドウ云フ工合ニ御立テニナツテ居ラレマセウカ、御聽キシタイト思ヒマス

○中村(敬)政府委員 第一點ハ空襲時ノ待避ノ施設、ドウモ現場ノ工場デ完全ナモノガ少イト云フ御話ハ遺憾ナガラ事實デゴザイマス、ソコデ我々ト致シマシテモ、地方廳ヲ獎勵致シ、殊ニ最近空襲ノ頻繁ニアリマス都市工場ニ付キマシテハ、詳細現場ヲ獎勵シテ、其ノ施設ヲ完備サセラユニ骨折ツテ居ルノデゴザイマスルガ、處ニ依リマスレバ、工場内ニ十分ノ敷地ガナイト云フヤウナコトヤ、或ハ東京近所デモアリマスルガ、穴ヲ掘リマシテモ水ガ出ル、ドウモ水ガ湧クノデ資材「セメン」ナドノ材料ガ十分アレバ又出來ル

カモ知レヌケレドモ、何分資材ノ不足シテ居ル際、其ノ場所ニハ穴ガ掘レヌト云フヤウナコトデ、餘儀ナク相當距離ノアル場所ニ施設ヲ近頃シテ居ル所モアリマス、一々現場ニ付キマストサウ云フヤウナ中々難カシイ事情モアリマスルガ、併シナガラ何レニ致シマシテモ斯様ナコトハモウ今日工場ノ生産ヲ維持シテ行ク爲ニ絕對ニ必要ナコトデアリマスルシ、殊ニ御承知デモアリマセウガ、只今審議中ノ勳員令ノ中ノ第四條カニアリマスルガ、所謂職場死守ノ規定ガゴザイマス、是ハドウ云フ趣旨カト申シマスルト、空襲時ニ於テ其ノ場所ヲ離レナイデ、必ズ責任ノ生産ダケ遂行シテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトデ命令ノ出來ル根據ヲ今度作ツテ居リマス、斯様ニ規定ハ從來極メテ少數ノ工場、即チ重要事業場勞務管理令ト云フ法令ノ適用ヲ受ケテ居ル工場ニ付キマシテハ左様ニ規定ガアリマシタケレドモ、是ハ極メテ少數デゴザイマシテ、今回ノ勳員令デサウ云フヤウナ規定ガ廣汎ナ工場事業場ニ適用ニナルト云フコトニ相成ツタノデゴザイマス、一面國家ハ斯様ニ法律上ノ根據ヲ以テ職場死守ヲ命ズル、而モ反面ニ於テ斯様ナ最モ誰シモ直格考ヘラレル待避ノ施設ガ非常ニ不十分ダ、ソレヲ放任シテ居ルト云フコトデアレバ、全ク政府ノ方針トシテハ矛盾スル譯デアリマス、私共トシマシテハ、一面左様ナ職場死守ノ規定ハ、是ハマア置カケレバナラヌト思ヒマスガ、左様ナコトヲスル前提トシテハ、必ズ斯ウ云フヤウナ施設ヲ完備サセルト云フコトガ本當ニ必要デハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘマシテ今度ノ勳員令ノズツト終リノ方デゴザイマスガ、特ニ一條防空施設ノ命

令ヲ發スルコトガ出來ルト云フヤウナ法規モ置イタ譯デアリマスガ、是ハ法律ダケノ問題デ、ソレヨリモ何ヨリモ實際ガ出來ルト云フコトガ一番大切ナコトデアリマス、之ニ付キマシテハ工場ノ管理ヲ擔當シテ居ル厚生省、特ニ軍需省ノ關係ガ多イノデアリマスルガ、雙方協力シテ地方廳トシテハ府縣及ビ軍需監理部ト云フヤウナモノヲ督勵シマシテ、現地ニ付テ手落ちノナイヤウニ急速ニ進メルヤウニ努力致シテ居リマス、既任ノ事實トシテハ御話ノヤウニ相當不完全ナコトノアツタコトハ事實デアリマス、速カニ是正致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ其ノ問題ニ關聯シマシタ空襲時ノ災害、特ニ死亡カ傷害トカ云フヤウナ問題、斯様ナ問題ニ付キマシテ保護ノ途ガ不十分デアルト云フコトデ、此ノ點ニ付キマシテハ、從來斯様ナ事態ヲ豫想シテ居ラナイモノデアリマシタカラ、今日ノ空襲ニ當面シテ參リマスルト保護法規ノ上ニ相當不完全ナモノガゴザイマス、ソコデ昨年ノ七月ダツタト記憶シテ居リマスガ、政府部内デ色々打合ハセマシテ、當面ノ對策トシテ色々ノコトヲ決定致シマシタ、尤モ是ハ災害等ノ保護バカリデナク、廣イ意味ノ空襲對策デアリマスガ、其ノ中デ此ノ災害ノ場合保護ニ關聯シテ、相當詳細ナコトヲ決定致シタノデアリマス、是ハ次官會議デ決定シタノデアリマスガ、此ノ決定ニ基キマシテ我々厚生省ナリ、軍需省ナリ、直接勞務管理ノ關係ノ省ガ更ニ之ヲ具體化シテ掘下ゲテ、實際ノ工場ノ指導ノ方針ヲ決メテ居リマス、一例ヲ擧ゲテ見マスレバ、工場デハ御承知ノ通り斯様ナ災害ニ付キマシテハ、相當工場自體ノ保護ノ規定ガ

作ツテアリマス、例ヘバ空襲ノ際ニ死亡シタト云フ時ニ弔慰金ヲ出ス、弔慰金ハドノ程度出スト云フヤウナコトハソレ／＼工場デ決定シテ居リマス、併シ其ノ決定額ガ少イ場合及ビ全ク左様ナコトニ付テ工場内デ事業主ガ決定シテ居ラヌ場合ニハ、此ノ標準額デヤツテ貰ヒタイト云フ指導ヲシテ居リマス、大體最小限、少イ場合デモ死亡ノ時ノ弔慰金ハ千圓ヲ下ラザル限度ニスルト云フヤウナ建前ニ相成ツテ居リマス、ソレカラ負傷ノ場合ニモソレニ準ズル譯デアリマス、ソレカラ事業主トシテ從來ノ左様ナ弔慰金ノ外ニ、此ノ際會社ガ保險料ヲ負擔シテ死亡傷害保險ニ加入スル、是ハ千圓マデハ保險料ハ會社ガ負擔スル、千圓以上ハ折半シテ負擔スル、詰リ勞務者ガ半額、其ノ爾餘ノモノヲ事業主ト云フヤウニシテ保險ニ入ラセルコトニ致シマシタ、尤モ此ノ點ニ付キマシテハ、千圓以上ニ付キマシテモ、事業主ガ全額負擔シテ差支ナイト云フヤウニ最近致メテ居リマス、ソレハ細カクナリマスルガ、斯ウ云フヤウナ保險ニモ入ラセル、行政上ノ指導デサウ云フコトニスル、ソレカラ是ハ大體事業主ノ方ノ側ノヤルコトデアリマスガ、其ノ他ニ御承知ノヤウニ健康保險トカ厚生年金トカ云フヤウナ國家ノ制度ニ依リマシテ、斯様ナ場合ニ支給スルモノガアリマス、ソレカラソレ等ヲ離レマシテ、更ニ勞務者保護ノ施設トシテ勤勞員援護會ト云フモノガアリマスルガ、之ニ於テモ標準ヲ立テマシテ、斯様ナ場合ニソレ／＼適當ニ支給ヲシテ行クト云フヤウニ、凡ユル點ヲ考ヘマシテヤツテ居リマス、但シ其ノ一部分ハ法律ニ基クモノデナク、行政上ノ指導ニ依ツテ居ルモノ

令ヲ發スルコトガ出來ルト云フヤウナ法規モ置イタ譯デアリマスガ、是ハ法律ダケノ問題デ、ソレヨリモ何ヨリモ實際ガ出來ルト云フコトガ一番大切ナコトデアリマス、之ニ付キマシテハ工場ノ管理ヲ擔當シテ居ル厚生省、特ニ軍需省ノ關係ガ多イノデアリマスルガ、雙方協力シテ地方廳トシテハ府縣及ビ軍需監理部ト云フヤウナモノヲ督勵シマシテ、現地ニ付テ手落ちノナイヤウニ急速ニ進メルヤウニ努力致シテ居リマス、既任ノ事實トシテハ御話ノヤウニ相當不完全ナコトノアツタコトハ事實デアリマス、速カニ是正致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ其ノ問題ニ關聯シマシタ空襲時ノ災害、特ニ死亡カ傷害トカ云フヤウナ問題、斯様ナ問題ニ付キマシテ保護ノ途ガ不十分デアルト云フコトデ、此ノ點ニ付キマシテハ、從來斯様ナ事態ヲ豫想シテ居ラナイモノデアリマシタカラ、今日ノ空襲ニ當面シテ參リマスルト保護法規ノ上ニ相當不完全ナモノガゴザイマス、ソコデ昨年ノ七月ダツタト記憶シテ居リマスガ、政府部内デ色々打合ハセマシテ、當面ノ對策トシテ色々ノコトヲ決定致シマシタ、尤モ是ハ災害等ノ保護バカリデナク、廣イ意味ノ空襲對策デアリマスガ、其ノ中デ此ノ災害ノ場合保護ニ關聯シテ、相當詳細ナコトヲ決定致シタノデアリマス、是ハ次官會議デ決定シタノデアリマスガ、此ノ決定ニ基キマシテ我々厚生省ナリ、軍需省ナリ、直接勞務管理ノ關係ノ省ガ更ニ之ヲ具體化シテ掘下ゲテ、實際ノ工場ノ指導ノ方針ヲ決メテ居リマス、一例ヲ擧ゲテ見マスレバ、工場デハ御承知ノ通り斯様ナ災害ニ付キマシテハ、相當工場自體ノ保護ノ規定ガ

デアリマスカラ、時ニハ徹底ヲ缺イテ
事業主ニ於テ未ダ實行シテ居ラス、實
行シテ居ツテモ額ガ非常ニ少イト云フ
憾ミガアリマス、斯様ナ點ニ付キマシ
テハ、今後十分注意ヲ拂ツテ行キタイ
ト思ヒマス、何レニ致シマシテモ、此
ノ種ノ援護ニ付テハ目下相當ノ所マデ
ヤツテ居ルノデアリマスガ、反面現在
ニ於テ非常ニ吾々モ物足ラナク考ヘテ
居リ、ドウシテモ此ノ點ハ急速ニ解決
ヲ要スルト云フ問題ガ一點アリマス、
是ハ他ノ機會ニ於テ厚生大臣カラモ此
ノ點ニ觸レテ御答辯ガアリマシタガ、
ソレハ何カト云ヒマス、金錢的ナ給
與ト云フコトヲ離レテ、寧ロ精神的ト
申シマス、榮譽ト申シマス、左様
ナ方面ヘノ國家ノ施設ガ現在ニ於テ不
十分デアル、金錢的ナ問題ト云フモノ
ハ自ラ限界モアリマス、是ハ何處マデ
ヤレバ十分ダト云フコトハ中々言ヒニ
クヒモノデアル、斯様ナモノヨリモ、
今日ハ寧ロ茲ニ精神的ナモノコソ大切
デヤナイカ、現在ノ施設ト致シマシテ
ハ應徵士ノ表彰規程ト云フモノガアリ
マス、重要工場ノ大抵徵用工場ニナツ
テ居リマス、隨テソコノ工員ハ應徵士
デアリマスカラ、表彰規程ノ適用ヲ受
ケル譯デアリマス、尙又是モ御案内ト
思ヒマスガ先年カラ勤勞顯功章ト云フ
制度ガアリマス、是モ實ハ是マデノ例
デハ適用範圍ガ實際ニ少イ、此ノ二ツ
ノ制度ハ何レモ精神のナ所ヲ狙ツタモ
ノデアリマスガ、今日ノ空襲時ノ對策
ト致シマシテ、此ノ二ツヲ以テ満足スル
コトノ出來ナイノハ當然ノ話デアリマ
ス、隨テ我々ト致シマシテハ物質的ナ
方面モ今後尙ホ實情ニ應ジテ出來ルダ
ケ完壁ヲ期シタイト思ヒマスガ、同時ニ
精神のナ面ニ於テモ、政府トシテ至

急ニ對策ヲ充實サセル必要ガアルト考
ヘテ居リマス、此ノ點ハ十分努力シテ
行キタイト思ツテ居リマス

○山崎(常)委員 尙ホモウ一點御聽キ
シマスガ、ソレハ最近餘リニ工員々々
ト云フ工合ニ煽レルモノデアリマスカ
ラ、工員ノ思想ガ非常ニ惡化シテ居
ル、是ハモウ驚ト御承知ノコトと思ヒ
マスガ、汽車ノ中デモ電車ノ中デモ、年
寄ニ席ヲ讓ラウト云フヤウナ雄々シイ
若人ハ殆ド見受ケラレナイ、電車ニ乗
ル時アタリデモ、年寄ヲ撥ネ除ケテ置
イテ乗ラウト云フヤウナ見苦シイ態度
ガ見ラレル、汽車ノ中デモ電車ノ中デ
モ、マダ丁年ニ達シナイ者ガ平然ト煙
草ヲ吸ツテ居ルト云フヤウナ狀態デア
ル、是ハ唯單ナル一例デアリマスガ、
是ガ思想上ニ及ボス所ノ影響、德義ノ
頹廢ト云フコトハ、殆ド風上ニ置ケナ
イヤウナ狀態ニナツテ居ル、斯ウ云フ
方面ニ對スル厚生省ノ工員指導ノ對策
ハ何カ立テラレテ居リマスカドウデセ
ウカ

○中村(敬)政府委員 工員ノ現狀ガ今
御指摘ノヤウナ色々遺憾ナ點ガアルト
云フコトハ、私共モ感じテ居ルコトデ
アリマスガ、何分御承知ノヤウニ今日
工場内ノ勞務ノ構成ト云フモノガ非常
ニ複雑ニナリマシテ、普通ノ工員ノ外
ニ徵用ト云フヤウナ關係入ツテ來テ
居ル者モアリマスシ、或ハ女子挺身
隊トカ、學徒トカ其ノ他勤勞報
國隊トカ色々ノ者ガ居リマス、ソコデ
此ノ工場内部ノ管理ト云フコトガ中々
難カシクナツテ參ツタノデアリマス、
元來日本ノ工業ニ於テハ勞務ノ管理
ト云フコトハ外國ニ遜色ノナイ行届イ
タ管理、特ニ纖維工業アタリニ付キマ
シテハ獨特ノ管理行ハレテ居ツタノ

デアリマスガ、是ハ色々ナ事情モアリ
マスガ、何シロ其ノ際ノ管理ノ管理ノ
對象デアル工員ガ、大體同ジ年齡デ同
ジ生活、或ハ家庭ノ狀況、詰リ共通の
ナ事情ニアル者ガ勞務ノ中心ニナツテ
居ツタ、隨テ斯様ナ者ニ對スル管理ト
云フモノハ何トシテモ容易デアツタ譯
デアリマス、併シ今日ハ至ク其ノ事情
ガ一變致シマシテ非常ニ難カシクナツ
タ、殊ニ工場内部ノ勤勞生活自體ヲ面
倒見ルダケデナク、工場外ノ家庭ノ
生活ニ及ンデマデ管理ヲシナケレバ本
當ノ管理ニナラナイ、斯ウ云フコトデ
詰リ工場ノ指導者カラ眼ノ屈カナイ家
庭生活マデ十分面倒見テヤラナケレ
バ、行届イタ指導ガ出來ヌト云フヤウ
ナ實情ニ相成リマシタ、此ノ管理ノ不
行届ト云フヤウナ結果トシテ、自然工
員ガダラシナイ狀態ニ陥ルト云フヤウ
ナコトニ相成ツタノデハナイカと思フ
ノデアリマス、隨テ現狀ヲ何トカシテ
救ハナケレバナラヌト云フコトニナリ
マスレバ、何トシマシテモ此ノ管理ノ
徹底ヲ圖ルト云フコトガ一番大事ナ問
題デアリマス、隨テ我々トシマシテモ
此ノ點ニ付テハ色々苦心ヲ致シテ居
マスガ、今申上ゲマシタヤウナ事情
デ中々難カシイ問題デアリマス、殊ニ
是ハ唯中央政府デ或ル方針ヲ示セバ直
グ解決スルト云フヤウナ、ソナ簡單ナ
問題デナク、一々現場ニ於テ實地ニ
指導シテ行ツテこそ、初メテ勞務管理
ノ實績ト云フモノハ舉ル譯デアリマ
ス、其ノ意味ニ於キマシテ我々ノ關係
カラ言ヒマスレバ、地方廳ニ居リマス
勞務官、軍需省ノ關係カラ言ヒマスレ
バ軍需監理部デアリマスガ、此ノ現地
機關ヲ督勵シテ、今日ノ狀況ヲ出來ル
ダケ改善シテ行キタイト云フコトデ努

力ヲシテ居リマス、尙又サウ云フ管理
ノ世話ヲスル役所ノ機構ニ付キマシテ
モ、今申シマシタ二ツノ系統ニナツテ
居リ、マスカラ、是ガ色々不便ヲ生ズル
原因ニモナリマスガ總理大臣モ此ノ點
ニ觸レラレマシテ勤勞行政ノ一貫調整
ト云フモノヲ、至急ニ實現シテ行キタ
イト云フコトヲ既ニ答辯サレテ居リマ
ス、政府ノ中ニ於キマシテ斯ウ云フ點
ニ觸レマシテ根本的ニ刷新ヲ加ヘテ行
キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマ
ス

○山崎(常)委員 今續、御答辯下サイ
マシタ所ニ依リマス、努力ハシテ居ル
ケレドモ、マダ左様ナ工員ニ對スル確
ル輔導機關ガナサレテ居ナイ、斯様ニ
考ヘマス、勿論今勤勞局長ノ御話ノ如
クニ、勞務管理ノ一元化ト云フコトハ
餘リニモヤカマシク唱ヘラレテ居ル問
題デアリマス、私共カラ見レバ勞務管
理ノ一元化ハヤハリ厚生省ガシツカリ
シナケレバナラヌ、大體厚生省ガ骨子
デアル、戰爭ニ勝ツカ負ケルカト云フ
コトハ、飛行機ガ一臺デモ餘計出來ル
カドウカト云フコトナノデアル、ニモ
拘ラズ厚生省ハ一體何ヲヤツテ居ルノ
ダト云フノガ、一般ノ識者ノ問題ニナ
ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソコ
デ勿論勞務管理ノ一元化モサウデアリ
マスガ、軍需省ガドウノ厚生省ガドウ
ノ、或ハソコヘ最近文部省ガ制込シデ
來テドウノト云フ工合ニ、一元化ドコ
ロカ三元化ニモ四元化ニモナツテ居
ル、斯ウ云フヤウナ狀態ガ現在ノ勞務
狀態デハナイカと思ヒマス、是デハイ
カヌ、本當ニ厚生大臣ガ、或ハ勤勞局
長ガ眞ツ裸ニナツテ、捨身ニナツテヤ
ツテ行カケレバ本當ノ勞務行政ノ效
果ハ舉ラナイデヤナイカ、私共ハ斯ウ

思ツテ非常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、
最近デモ空襲ヲ受ケタ方面ノ工員ノ出
勤率ガ大分惡化シタガ、併シナガラ度
度空襲ヲ受ケタ結果、心モ定マリ、覺
悟モ定マツテ愈、ヤラナケレバイカヌ
ト云フ此ノ憤恨ニ燃エテ居ルスト云フ點
モアチコチ見受ケラレマス、更ニ工
場デ空襲ヲ受ケタ場合、其ノ附近ノ工
員ガ警報ガ鳴ツタラ直グニ逃出スト云
フヤウナ傾向ガアリマス、ソコデ軍隊
ナリ或ハ警察ガ一生懸命ニソレヲ逃出
サナイヤウニ止メル、止メテモ塀ヲ乘
越エテ逃ゲテシマフト云フヤウナ實情
モアツタ、ソレデソレヲ捕マヘテ聞ケ
バ、我々ハ勞働ハ賣ツテ居ルケレドモ
命ヲ賣ツテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ
コトヲ言ツテ居ツタ、是ハ實ニ怪シカ
ラスデヤナイカト云フコトニナリマス
ガ、併シモウ一步掘下ゲテ内偵シテ見
レバ、彼等ハ己レノ命ガ欲シイト云フ
バカリデハナイ、皆家族ヲ持ツテ居
ル、親ヲ持ツテ居ル、子供ヲ持ツテ居
ル、自分ガ若シヤ爆死シタラ後ノ家族
ガドウナルカト云フ憂ヒガアルガ爲
ニ、命ヲ棄テタラ大變ダト云フ結果ガ
逃出ストニナル、斯様ナコトノナイ
ヤウニ厚生省ガ十分考ヘナケレバイカ
ヌ、是ハ今ノ厚生省ノミデハ勿論出來
マセヌデセウガ、若シ敵ニ空襲セラレ
テ機械ト共ニ爆死シタ場合ニハ、アナ
タガ先程仰シヤツタヤウナ精神のナ面
ニ於テハ戰死者トシテ扱ヒ、後ニ殘ツ
タ家族ハ名譽ノ戰死者ノ家族トシテ國
家ガ其ノ生活ヲ保障スルト云フ工合
ニ、其ノ賞罰ヲ明カニシテ置ケバ、逃
出ストナレバ非國民デハナイカト捕マ
ヘルコトモ出來マセウケレドモ、今遺
憾ナガラ其ノ制度ガナイ爲ニ、結局機
械ヲ離レテ逃ゲ出スト云フヤウナ結果

果ハ舉ラナイデヤナイカ、私共ハ斯ウ

思ツテ非常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、
最近デモ空襲ヲ受ケタ方面ノ工員ノ出
勤率ガ大分惡化シタガ、併シナガラ度
度空襲ヲ受ケタ結果、心モ定マリ、覺
悟モ定マツテ愈、ヤラナケレバイカヌ
ト云フ此ノ憤恨ニ燃エテ居ルスト云フ點
モアチコチ見受ケラレマス、更ニ工
場デ空襲ヲ受ケタ場合、其ノ附近ノ工
員ガ警報ガ鳴ツタラ直グニ逃出スト云
フヤウナ傾向ガアリマス、ソコデ軍隊
ナリ或ハ警察ガ一生懸命ニソレヲ逃出
サナイヤウニ止メル、止メテモ塀ヲ乘
越エテ逃ゲテシマフト云フヤウナ實情
モアツタ、ソレデソレヲ捕マヘテ聞ケ
バ、我々ハ勞働ハ賣ツテ居ルケレドモ
命ヲ賣ツテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ
コトヲ言ツテ居ツタ、是ハ實ニ怪シカ
ラスデヤナイカト云フコトニナリマス
ガ、併シモウ一步掘下ゲテ内偵シテ見
レバ、彼等ハ己レノ命ガ欲シイト云フ
バカリデハナイ、皆家族ヲ持ツテ居
ル、親ヲ持ツテ居ル、子供ヲ持ツテ居
ル、自分ガ若シヤ爆死シタラ後ノ家族
ガドウナルカト云フ憂ヒガアルガ爲
ニ、命ヲ棄テタラ大變ダト云フ結果ガ
逃出ストニナル、斯様ナコトノナイ
ヤウニ厚生省ガ十分考ヘナケレバイカ
ヌ、是ハ今ノ厚生省ノミデハ勿論出來
マセヌデセウガ、若シ敵ニ空襲セラレ
テ機械ト共ニ爆死シタ場合ニハ、アナ
タガ先程仰シヤツタヤウナ精神のナ面
ニ於テハ戰死者トシテ扱ヒ、後ニ殘ツ
タ家族ハ名譽ノ戰死者ノ家族トシテ國
家ガ其ノ生活ヲ保障スルト云フ工合
ニ、其ノ賞罰ヲ明カニシテ置ケバ、逃
出ストナレバ非國民デハナイカト捕マ
ヘルコトモ出來マセウケレドモ、今遺
憾ナガラ其ノ制度ガナイ爲ニ、結局機
械ヲ離レテ逃ゲ出スト云フヤウナ結果

果ハ舉ラナイデヤナイカ、私共ハ斯ウ

思ツテ非常ニ遺憾ニ思ツテ居リマス、
最近デモ空襲ヲ受ケタ方面ノ工員ノ出
勤率ガ大分惡化シタガ、併シナガラ度
度空襲ヲ受ケタ結果、心モ定マリ、覺
悟モ定マツテ愈、ヤラナケレバイカヌ
ト云フ此ノ憤恨ニ燃エテ居ルスト云フ點
モアチコチ見受ケラレマス、更ニ工
場デ空襲ヲ受ケタ場合、其ノ附近ノ工
員ガ警報ガ鳴ツタラ直グニ逃出スト云
フヤウナ傾向ガアリマス、ソコデ軍隊
ナリ或ハ警察ガ一生懸命ニソレヲ逃出
サナイヤウニ止メル、止メテモ塀ヲ乘
越エテ逃ゲテシマフト云フヤウナ實情
モアツタ、ソレデソレヲ捕マヘテ聞ケ
バ、我々ハ勞働ハ賣ツテ居ルケレドモ
命ヲ賣ツテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナ
コトヲ言ツテ居ツタ、是ハ實ニ怪シカ
ラスデヤナイカト云フコトニナリマス
ガ、併シモウ一步掘下ゲテ内偵シテ見
レバ、彼等ハ己レノ命ガ欲シイト云フ
バカリデハナイ、皆家族ヲ持ツテ居
ル、親ヲ持ツテ居ル、子供ヲ持ツテ居
ル、自分ガ若シヤ爆死シタラ後ノ家族
ガドウナルカト云フ憂ヒガアルガ爲
ニ、命ヲ棄テタラ大變ダト云フ結果ガ
逃出ストニナル、斯様ナコトノナイ
ヤウニ厚生省ガ十分考ヘナケレバイカ
ヌ、是ハ今ノ厚生省ノミデハ勿論出來
マセヌデセウガ、若シ敵ニ空襲セラレ
テ機械ト共ニ爆死シタ場合ニハ、アナ
タガ先程仰シヤツタヤウナ精神のナ面
ニ於テハ戰死者トシテ扱ヒ、後ニ殘ツ
タ家族ハ名譽ノ戰死者ノ家族トシテ國
家ガ其ノ生活ヲ保障スルト云フ工合
ニ、其ノ賞罰ヲ明カニシテ置ケバ、逃
出ストナレバ非國民デハナイカト捕マ
ヘルコトモ出來マセウケレドモ、今遺
憾ナガラ其ノ制度ガナイ爲ニ、結局機
械ヲ離レテ逃ゲ出スト云フヤウナ結果

ニモナリマス、是ハハホンノ一例デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ例ガ各方面ニ見ラレマスノデ是等ノ勞務行政ノ問題、勤勞部面ノ問題ヲ眞剣ニ考ヘテ貰ツテ、ソレ等ガ機械ノ下ニ生命ヲ失クシタラ、勿論家族ハ國家ガ見テ呉レルンダト云フ安心感ヲ與ヘナケレバイカヌト思フ、更ニ又其ノ附近ニ先程モ御話申上ゲタ頑丈ナ防空壕ヲ作ルコト、斯様ナ設備ガ完全ニナラナイ限りハ勞務者方面ニ於テ安心ラシテ仕事ヲスルコトガ出来ナイト云フヤウナ現状ニ、各方面ガ曝サレテ居ルト云フコトハ篤ト御承知ノコトト思ヒマスガ、ドウカ斯ウ云フ方面ニ十分ノ御努力ヲ御拂ヒ下サレシコトヲ勤勞局長ニ切ニ御願ヒ申上ゲタイト斯様ニ考ヘマス、勤勞局長ニ御尋ネスルコトハ此ノ程度ニ致シマシテ、次官ハ御見エニナリマセヌカ

○古田委員長 今日ハ一寸ムヅカシイヤウデゴザイマス、明日午前十時ニヤリマスカラ其ノ時御呼ビシマセウ——金子委員

○金子(定)委員 先刻ノ質問ノ繼續デ少シ間ガ飛ビマシタガ……、内地ニ來テ居リマス朝鮮勞務者ノ扱ヒ、勞務管理ト申セバ、ヤカマシクナリマスケレドモ、我々ノ見聞スル所デハ直接勞務者ニ接シマスル者ガヨク殿ルト云フコトガ最モ害ヲナシテ居リマス、ソレカラ酒ノ問題モアリ煙草ノ問題モアリマスルガ、特ニ先刻モ申上ゲマシタ納屋制度ガ中間デ物ヲ搾取スル、是ガ大變ニ害ヲシテ居リマス、併シ是等ノコトハ厚生省ノ御世話ノ下ニ手段ノ盡シ様モアリマセウガ、一番問題ニナリマスル所ハ直接勞務者ニ接シマスル所ノ内地人、若シハ半島人ノ人夫監督者ダ

ト思ヒマス、是等ハ勞務者ニ聞キマスルト、我々が見テ是ハ立派ナ人ダト思フ者ハ、ヤハリ彼等モアノ人ハ良イト言ツテ居リマス、ソレカラ朝鮮ノ人ナルガ故ニ必ズ宜イトハ限ラナイ、中ニハ朝鮮ノ人ナルガ故ニ却テ困ル所モアリマスガ、是等ノ直接勞務者ニ干與シマス所ノ者ノ人選ニ付キマシテハ厚生省ガ考ヘラレネバナラヌト思ヒマス、此ノ點ニ付テ御考ヘテ承リタイト思ヒマス、ソレカラ先刻申シタノデアリマスルガ、斯ウ云フ勞務者ノ問題ハ一面ニハ勿論職力増強ニ至大ノ關係ヲ持ツテ居リマス、他面ニ於キマシテハ朝鮮ニ波及スル所ガ非常ニ至大ナノデアリマシテ、農村ハ今食糧難、ソコヘ持ツテ來テ勞務者カラ手紙ガ來ナイ、金ガ來ナイ、農村ノ空氣ハドウモ腐敗的ニモナツテ居リマスシ、又或ル者ガ火ヲ點ケマスト燃エ上ルヤウナ素地モアルノデアリマス、御承知ノ通り朝鮮デハ日本國家主義ニ傾ク青年ハ、其ノ中ニ入ツテ一命ヲ以テ國難ニ當ツテ居リマスシ、又四十、四十五ト云フヤウナ壯年者デモ一兵卒トナツテ志願シテモ入ツテ居リマス、其ノ他見事ナ日本精神ヲ發揮シテ居リマスルガ、反面ニハ左ノ方ニ傾ク者モ烈シクナツテ居ルノデアリマス、隨テ點火シヨウトスレバ點火サレナイコトモナイトハ言ヘナイ、ソコヘ持ツテ來テ可燃質ニナツテ居リマスルト由々數キ大事トナラヌトモ限ラヌノデアリマスカラ、厚生當局ハ特ニ内地ニ來テ居リマスル朝鮮勞務者ノ扱ヒニ付テハ深い配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、段々言葉ヲ續ケレバ、其ノ他ノ方面カラ來テ居ル勞務者ニモ及ビタイノデアリマスガ、是ハ時間ノ關係デ控ヘテ置キマス、兎ニ角職力増

強ノ上ニモ、朝鮮統治ノ上ニモ、殊ニ日本臣民一億擧ツテ一丸ト云フコトヲ名實共ニ致シマス爲ニハ、二千六百萬ノ朝鮮ノ人ヲ措イテハ考ヘラレナイノデアリマス、其ノ中最モ大キナ問題ヲ提供シテ居リマスノハ、厚生省所管ノ日本内地ニ來テ居リマス徵用若クハ勸誘、韓旋ニ依ル勞務者デゴザイマス、重ネテ申上ゲルノデアリマスガ、只今ノコトニ付キマシテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○中村(敬)政府委員 半島人ノ管理ニ付キマシテ、特ニ直接監督ニ當ツテ居ル者ノ態度ガ良クナイ爲ニ、例ヘバ殿ルト云フヤウナコトガ原因ニナツテ、色々ゴタ／＼起スト云フコトハ、私共地方カラ色々情報ガ參リマスノデ氣ヲ付ケテ居リマスルガ、事實サウ云フ場合ガ非常ニ多イノデス、現在ノ日本ノ勞務ノ關係ニ於キマシテ、監督體制ト云フヤウナコトガ原因ニナツテ色々ノ面倒起スト云フコトハ、工場、事業場全般ヲ通ジテ稍、増シテ居ルヤウナ趨勢ニアリマス、ソコデ特ニ半島人ノ扱ヒニ付テハ、私共モ今後十分ニ注意シテ行キタイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ最初ノ人選モ無論ノ語、ソレカラ其ノ後ニ於キマシテ特ニ斯ウ云フ者ヲ對象ニシタ特別ノ訓練養成ヲ致シテ行キタイ、斯ウ云フコトデ今我々ノ所デ具體的ナ方法ニ付キマシテモ研究中デアリマス、ソレカラ第二點ノ問題ニ付キマシテハ、無論御話ノヤウニ非常ニ朝鮮ノ統治ナリ、或ハ思想動向ノ問題トシテ大事ナ問題デアリマス、昨年徵用ヲ開始シテ以後ノ實績カラ申シマスレバ、最近移入サレテ居ル勞務者ニ於キマシテハ、概シテ申シマシテ從前カラ入ツテ居ル者ヨリモ成績ガ宜シ

ク、工場 事業場デモ非常ニ喜ンデ居リマス、斯様ナ傾向ニアリマスルノデ、今後トモ十分注意致シマシテ、斯様ナ重大ナ問題ニ付キマシテハ我々ト致シマシテモ、細心ノ注意ヲ拂ヒ、微力ヲ盡シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○金子(定)委員 只今ノ此ノ御苦心ノ程ハ御察シ致シマスガ、ドウモ日本人ノ癖デヨク人ヲ殿ル、殿ラレタ勞務者ガ物議ヲ醸ス、或ル事業主ガサウカ俺ノ類ベタヲ殿ツテ貴様我慢シテ呉レト言ツテ類ベタヲ提供シテ、マサカ殿レモシナイノデ其ノ儘引下ツテ、其ノ後ハ滑カニナツタト云フコトモ聞イテ居リマス、サウ云フコトデアアルカラ朝鮮カラ來タ者、其ノ他ノ外來ノ勞務者ニ對シテ、ドウカ深甚ノ御配慮ヲ願ヒマス、此ノ間滿洲ヲ廻ツテ見マスヤハリ其ノ通りデアリマス、殿ル爲ニ日本人ノ事業ガ振ハナイ、向フノ勞務者ガ逃ゲテシマフノデアリマス、ソレカラ若イ者ニ酒ヲ飲マセバ働クト云フ觀念ガアルノデアリマスガ、朝鮮カラ來タ者ニハヤハリ金デアリマス、ソレデ送金ノ一番良イノハ九州三池ノ忠限鑛山デアリマス、彼處ノ送金ダケハ素晴ラシイノデアリマス、ドウモ一面ニ於テハ機械ヲ取ラナケレバナラヌ點モアリマセウガ、他面ニ於テハ是ハ分家ノ子ヲ預ツテ、ソレヲ教育シテ歸スト云フ氣持デ教ヘル、能ク教ヘマシテ、餘リ機械ヲ取ラズニ正シク導クト云フコトガ却テ宜クハナイカ、殊ニ朝鮮ノ部落ト云ツテモ全部廻タ譯デナイガ、四五箇村ノ様子ヲ見マス、日本ニ行ツテ良イ人間ニナツテ歸ツテ來ルコトヲ希望シテ居ル、所ガ來タガ爲ニ博奕ヲ覺エテ、折角向フデ青年訓練ヲヤツタノガ水ノ泡ダト云フ例モアルヤウデアリ

マス、ソレハ逃亡者ガ傳ヘルノデアリマス、逃亡シテ歸ル者モ少クナイ、ダカラ若イ者ノ機械ヲ取ツテ働カセルト云フコトデナク、本當ニ日本式ニ親身ニナツテ、親切ニ正シク教ヘテ導クト云フコトガ國ノ爲メデハナイカト思フノデアリマス、長クナリマスカラ此ノ程度デ質問ヲ打切りマスガ、ドウゾ勞務者ノ機械ヲ取ルト云フノデハナク、正シク導イテ國家ノ爲ニ働カセルト云フコトニナツテ戴キタイト希望致シマス

○古田委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ會議ヲ開キマス
午後三時三十一分散會

昭和二十年二月四日印刷

昭和二十年二月四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局